THE KEIJO NIPPO 大正九年六月八日 (火曜日) 第四千五百五十一號 (一)

地形上より觀たる朝鮮（三）

志賀重昂氏談

朝鮮の半島としての人文

總て世界に於て半島を爲して居る處は、極寒極暑の地は別として其他の半島は文明に貢獻する處が多い、獨語のハルビンゼル（佛語のプレスクイル）である、三方からは他國の文明が續々輸入されるし、半島には大なる山河共に少い利點もある、支那の山東半島の如きは孔孟の如き哲學者を出し、印度半島は釋迦佛を生じ、亞剌比亞、埃及等は哲學文明の淵を爲して居る半島は新しき文明を作り又文明を他に傳へる性質を持つてゐる、朝鮮の文明に就て考へるなれば、西暦六百四十年今より千三百年前に建設した天文臺の遺跡が遺つてある、瞻星臺と謂ふのが夫れで二里位遠方より見ゐて居る、又慶州邊の村落にある古墳の如きは實に大なる者である、又栢栗寺の藥師如來の銅像は西暦千二百五十年頃の者で、作は極めて精巧で大なる者である、殊に奉德寺の鐘は徑七尺周圍二十三尺厚さ七寸の物である、又彼の高麗燒は世界の陶器中價値ある者である、日本の宗敎は朝鮮から輸入され、又文學、美術工藝悉く朝鮮より來つたのである、神功征韓の如き大いに半島の文明を日本へ招來したのである、文字言語も皆支那より來つたもので外國文字外國語を除すれば何物も無い、應神朝に阿直岐（百濟人）が山海經論語を傳へ、其の翌年王仁が又論語及び千字文を傳へた、始めて史部文部の官を置いた欽明朝の十三年に始めて寺を建てた、元來日本の刀劍甲胄は世界第一とせられて居るが其の源は矢張り朝鮮傳來の樣である、併し日本には古來砂鐵が出るから古代より刀を鍛へたかも知れぬが、鍛錬法は朝鮮より來つたものと信ぜられる、又繪畫も朝鮮より來つたものである、斯の如く文明の元を爲して居ながら何故其の衰へたかと云へば半島なるものは地形上文明の橋梁をなして其の使命を終れば自然と衰ふる性質を持つて居る、即ち半島は侵略されるには又便利が宜い、從つて興亡常なき有樣である、國民性は自から事大思想となり行くのは止むを得ざる次第である、是れが隣邦强國の勢力が平均して何れからも均衡上侵略を受けぬ場合に於てのみ文明が發達する、總て外交的ならざるを得ないのである、漢の時に將軍公孫淵が侵略した是が第一で西の方の勢力に從つた、漢が亡んで神功征韓の爲に第二として南の勢力となつた、第三には隋の文帝の時に征せられて仕舞つた日本の勢力の最後は奈良朝の御韓戰であつたが、是は日本に巧く行かなかつたものと見ゐる、後契丹に（遼となる）征せられ次には宋に征せられ其次には女眞國（金）に服し、其後金は蒙古に亡ぼされ當時の南宋も蒙古に亡ぼされるに及んで高麗朝も蒙古に伏し、次に又明に服せられた次に又李朝も文祿征韓の役に征せられた明を亡ぼしたのは滿洲人であるが、亡明の先手は豐臣秀吉の朝鮮役であつたのである、淸の時韓を征し仁宗の時に服せられた、日本の德川幕府は鎮國主義であつたが、明治になつて西鄕板垣等の征韓論となり、支那では海軍に依て半島に大いに勢力を殖した其れが爲に終に日淸戰爭となつたのである、其次ぎに北の方露國が半島へ手を延べた、其故日露開戰となり、日本の勝利の爲めに今日の併合となつたのである、斯の如く絕わず强國に隨從して居る、半島は長所もあるが又短所もある、伊太利が半島であるが、蘇格蘭のアントロ大學の敎授は朝鮮は東洋の伊太利だと云つて居る、伊太利は羅馬以來の半島國、半獨立國であつたが、歷史は此度の戰爭に一百二十五萬の捕虜を出だし、二千門の砲の中で千三百門を墺軍の爲に分捕られた等は一笑話である、而も當時マッケンゼンは四個師團の兵力を用ゐたに過ぎぬ、要するに半島を成して居る國は悲慘の歷史が多い今後は大陸時代大洋時代であると思ふ。（東京支局）

屑屋の籠

タフト氏の正論

隈汀生

五月廿七日米國前大統領タフト氏は、ポートランド公會堂にて時事に關する一場の演說を試みたるが、其の中に、日本人問題に就きて述べ、日本は紳士協約の履行に忠實なるものにして、在米日本人數は現在のところ、增加するよりも寧ろ減退するの事實あり。黃禍の如きは全く一の杞憂に過ぎずと斷じ、且つ語を繼いでポート、リヴァ一等の日本人土地勝へ者漸次增加する事に就きては、日本人と雖も、米國に在留する以上、南物あれば買手たること勿論なりと結べりと云ふ。所說公平、流石に能く日本及び日本人を知るものである。但目下米國にはジョンソン氏（排日土地法の中心人物にて、大統領候補者の一人）其の他の徒輩の、己が政治的野心を遂せんが爲めに、排日を唱へて、民心を收攬せんとする者の多き折柄なれば、彼の地の輿衆が能くタフト氏の正論に耳を傾け、十分に之を理解し得るや否が、疑問とせらる。

有樂町より

東京支局

朝鮮郡守の一行さ共に入京した朝鮮總督府の活動寫眞隊が持つて來た朝鮮風俗のフィルムを二日の午後二時から東洋協會の樓上で試寫した▲會頭の後藤男、專務理事の永田貴族院議員、臺灣總督府の下村總務長官、拓殖局の立花次長等が審査員の格で顔を並べる▲總督府の正門前に疾走して來た自動車が背後で中折の水野政務總監を吐き出す場面になると「やあ、水野君が……」と賑かになる、辯士聲を張り上げて曰く『總監閣下登廳の光景でございます』▲この寫眞隊は恰度齋藤總督が此間伊勢大廟に參拜した時行き合はせたので、總督も是非下見をしたいと云ふので午後の十時頃から五二館の二階で映寫したが先づ之ならば拙くも無からうと云ふ事になつたさうだ

水野博士を訪ふ

余は朝鮮に來てから既う三年になるが、親しく總督や政務總監に接するの光榮を得たのは今度が初めてである。どうも是れまでの方々には、態々御訪ねしてまで見してみたいなどゝいふ心が起らなかつた。（但し伊藤公は例外である、公には東京にて兩度御目に掛つた。）水野總監は、啻に政治家さしてばかりでなく、學者さして亦大に尊敬すべき人であるから、今宵博士を官邸に訪うて種々有益なる御談を承はつた。『夜分の方が緩くりするから』との御手紙を賜つたからである。余は博士の著書に依りて略ぼ其の人を想望して居たが、如何にも打ち解けた、曾つて心地の好い、物事のよく分る、常識に富み而も學者的の立派な人格の方だと思つた。齋藤總督に初めて接見した時さは、亦一種別樣の愉快な印象を得て官邸を辭した。彼の總督に配するに是の政務總監を以てす、朝鮮の前途は多望であると窃に自ら欣び且つ祝した（六月四日夜稿）

小兒の扱ひ方

小兒を扱ふに、常に忘れてならんのは、彼等の所作は、決して年長者の批判で決せられないことであります。小兒の立脚地は成人のとは違ふ。萬事の目安が異なツて居るからで、何も不思議はない。隨つて小兒等は成人の標準として居る所が何れにあるかは知らんのです。年長者の使ふ言葉でさへも、小兒には碌々解らないことがあります。小兒の思想感情には成人の立ち入ることの出來ない領分があるものです。成人の見地に立ツて小兒の行爲を判斷しようとするのは大間違ひで、小兒は小兒たらざるを得ず、成人は成人たらざるを得ないのです。それで成人が小兒と云ふものを、賢明に公平に扱ふには、凡て小兒の身の上に起つて來る事柄をば、成人自身に如何感ずるかを問はないで小兒自身の上に如何感ぜられるかといふことを考へねばなりませぬ。例へば小兒が間斷なく動くことに就いて考へてごらんなさい。此は小兒の身體が健全なる發達を遂げる爲めに、自然に與へられた方法なのであります。然し既に充分に發達した成人には、此の樣な必要のない所から、動け廻られるのが、如何にも五月蠅い、耐へ切れなくなつて、『靜かになさい』と窘めたくなります。此の『靜になさい』と小兒を叱ることは、極めて慘酷な事で、勤々溢れて居る剛健な精力を抑へて了ふのでありますが、其の精力を抑へつけた結果が、意地惡くなる、氣むつかしくなる。往々陰氣になツたり、病氣になるのであります。若し之を抑へず、適宜に導いて遣れば、小兒は快活の性質となるのです。小兒を思ひ遣る心、即ち同情さへあらば、母は、此の呼吸がよく理解し得らるゝのです。決して『いけません』といふ言葉を使はず、小兒の活動を妨げないやうにして『何かをしなければならぬ』と思はせながら、唯善い事をさせて、惡戲を忘れるやうにするのです。男の兒は障子を破ツたり、襖を叩き廻つたり、家具を毀したりするのが大好きですから、玩具を與へたり、板か木の斷片を與へたりすれば宜しい。小兒には『いけません』と制すれば、『いやん』と鼻を鳴らすに定つて居ます。『太郎さん、斯うしちやいけませんよ』『そんなに飛び廻つちやいけません』『さう喧しくちやいけません』『そんなに手荒く襖を閉めちやいけません』『そんなに騒いではいけません』と少しも自分の氣に向くやうにしようとすれば、傍から斯う制せられる。小兒の逃道は唯一つ剛情に『いやだ』と拗るより他はない。意地けるのも無理はない、如何です、さうじやありませんか。

神仙爐

劍花坊

紙鳶の事（七）

江戸では、この紙鳶からしばしば喧嘩が起きた、絲を絡ませて他の紙鳶を切り放し、或ひは此方へ抑捕するのだ、これをするにはガンギといふ剃刀の如きものを絲へこしらへて、他の絲を切つたものだ、この喧嘩から血塗れ騒ぎなどが出來たから、一時は町奉行から大紙鳶は禁ぜられたことも有つた、がヤハリ二十枚張だの、二十五枚張だのは明治の始めまで揚るものがあつた、もつともこれ等は子供が揚けるので無く大人が數人がゝりで揚げるのだ、文久頃の事か夜間に紙鳶を揚げることが流行して、それには提灯などを點けたもんだ、木挽町でこれが爲に火が出て、こればかりは嚴禁された、こ故塚原澁柿翁が僕に話したことがある、濱松や、長崎など紙鳶揚げはなかなか盛んださうだ、扇紙鳶などは尾が無くつて面白いものだ、長崎紙鳶などはもつとも尾の無いので興味がある、この紙鳶揚も空中に蜘蛛の網の如く電線が張らるゝに至つて、自然に滅つて行つたのである。

懸賞川柳

劍花坊選

一等 京城 土呂帽
禁酒會歸りに蟲が承知せず
評 題がむづかしかつたか、今回は三題こもアマリ佳句が無かつた、ヤハリ禁酒會の句がすぐれてゐた。

二等 晋州 一の字
禁酒會馳走さあれば除外例
評 壓倒の句。

三等 仁川 紅短冊
美くしい手で花札

同 仁川 花山
禁酒會氣の毒な顏ばかり寄り
評 人の二氏は」いづれも川の人だつた」

懸賞川柳募集

課題 貧乏 金持

◎貧乏。（例）貧しきのきまりのはては笑ひ合ひ（椎子郎）
◎金持。（例）金持さ見くびつて行く初鰹（古川柳）

締切 六月十三日

賞金 一等及天の句には金一圓を贈呈す

宛所 京城日報編輯局川柳係

注意 住所姓名明記の事、記載なきものは如何なる名句と雖も沒書とす

復讐戰 意氣燃ゆる早慶大決戰 決死的庭球戰◎大競漕戰等血湧き
▶リオ・ピムリック大會◀ 早高野球戰 ▶四大學リーグ戰◀ 一高學習院戰
市來朝記念號
運動界
價一部 郵税共三十六錢 郵券一割增
發行所 東京四谷區舟町 運動界社 振替東京五九七五

（コルク玉打出）空氣銃
本銃ハ遊技用品也 當金附
定價表說明書御申込次第送付
名古屋市西區本町 早川銃砲店

事務員採用
但簿記素養充分アルモノ本人ノ履歷書及記帳筆跡送付ノコト
全北全州本町四丁目 朝鮮製莚株式會社

ピアノ オルガン
山口樂器店 京城本町二丁目 振替口座五二一五
カタロク無代進呈

最新刊
クロポトキン自叙傳 革命家の思出 大杉榮 三、六三〇
文化問題十五講 十五大名家講述 三、〇八〇
改造の歐米より 田子一民 三、〇八〇
小野仙子集 田山花袋 有島武郎 二、九七〇
新時代の婦人 山田わか子 一、二〇〇
土の匂ひ 本多考吉 一、六五〇
時代に適應する諸實用商業手文 原月舟 一、六五〇
すゞめ百まで 德川夢水 九、九〇
大阪屋號書店

京城學校組合會議員候補者
藤村忠助君
當町內相談の結果同君を最適任者と認め公認候補者として推薦致候
明治町一、二丁目有權者

東京心理協會長清水芳洲先生 修靈鍛身會々長藤田西湖先生 出張
清水式心理療法施術
清水式自已他人催眠法講習會
日本に於ける催眠術界の第一人者たる清水芳洲先生の創成る自已催眠法は數分乃至三四十分の催眠によつて血液の循環を能くし、疲勞せる精力、記憶力を恢復し、慢性不治の病癖に苦しむ紳士諸君、淑女諸姉は速かに來つて先生の靈術を受け肉體の苦艱を脫せられよ
藤田式修靈鍛身法等に至るまで僅か一週夜の講習にて確實に其の方法を敎授し最も容易に其妙諦を感得自在ならしむ
（會則進呈）京城府旭町壹丁目三十五番地 玉川方
主催 京城有志者

實業之日本
諸會社の利益減…吉村鐵之助
織物大恐慌
在庫品處分
投賣を戒しむ
財界動搖中
自彊術に依りて卒中を免る
株式相場大失敗の實驗
生絲貿易
財界批判 東洋紡績 王子製紙 大日本麥酒 久原鑛業 北海炭礦 鬼怒川水電 淺野セメント 猪苗代水電
三大造船所
原首相を續くる今後の政局
政治批判
六月一日發行 定價參拾錢 實業之日本社 振替東京

國產大根種
（定價表無代進呈）尾州小牧町 小牧農園

赤い鳥 蓄音器吹込み
常磐津 三保の松
義太夫 太功記十段目
浪花節 丸橋忠彌
琵琶 五里五里
赤い鳥 かなりや 雨 りす〳〵小りす
薩摩琵琶 寺子屋
口笛
テノール獨唱 フラ、デヤボロ 大津賀八郎
特製レコード 定價金壹圓八拾錢
ニッポノホン 六月新譜賣出し
京城本町一丁目 日本蓄音器商會 電話一貳八三番

過激派の本領
ボルシェヴィキ革命の眞相に通ずることは、新ロシア共產國に接近して居る我國民の急務である
中目尚義譯述（最新刊）定價二圓二十錢 郵税十二錢
經濟組織改造論 法學博士堀江歸一著 定價三圓五十錢（送料十二錢）
地底の露西亞 宮崎龍介譯 定價二圓五十錢（送料十二錢）
勞働組合指針 中目尚義譯 定價二圓五十錢（送料十二錢）
思想は動く 正親町季董著 定價二圓五十錢（送料十二錢）
東京京橋區槇町 大阪三休橋南詰 大鐙閣發行 振替東京三三六一八 大阪二七一五五

◆我等に自由の討究あれ！
法學士佐野學譯述（最新刊）定價二圓 郵税十二錢
ゲーヴァ ニッツ マルクスかカントか

お待ち兼ねの增補出來!!!
增補 朝鮮風俗集
定價金三圓八十錢 送料十八錢
密接の利害及關係ある鮮人諸氏との交際に營業取引及雇傭等に朝鮮古來の風俗、慣習、傳說、迷信、好惡等の人情を知りて圓滑なる交際を保つべく再版發行せり
發賣元 合資會社 京城日報社代理部
ウツボヤ書店

京日案內
活版印刷機 提供
陣營具購買 多數本月二十一日
事務員採用
下女入用
女中入用 新白水
金融 月賦貸付 村上
乘馬讓り度し
內地人女從業員
總督府印刷所
外務員採用
貸遊船 共樂社
時計師招聘 阿曾時計店
不思議に治る
配達人至急入用 東洋牧場
社員招聘 大同生命
古本高價買入 群書堂
ほねつぎ 柔術道場
洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切
金物商 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店

復讐戰を夢見ず
獨逸宰相の聲明

獨逸宰相ミユーレル氏はミユンヘンに於てスパー會議は獨逸民族がヴエルサイユ條約より解放さる可き第一の曙光なりと言ひ獨逸は決して復讐戰を夢見るものにあらずと聲明せり（伯林電報）

獨對佛損害要求

獨逸政府は過般佛軍ライン河畔地方占領に依りて生じたる損害賠償として佛國政府に對し四千六百廿五萬法を要求す可しと（チウリツヒ電報）

グリーン農民會議準備

巴威農民同盟首領ハイネ博士は全農民社會を代表するグリーン農民國際會議を準備しつゝあり（伯林電報）

獨兩相スパー會議出席

獨逸宰相ミユーレル外相[illegible]は獨逸を代表してスパー會議に參列す可し（伯林電報）

土條約回答決定

土耳其政府は講和條約に對する回答を下の如く決定せり（倫敦電報）

一、パレスタイン、アルメニアは自治權を與ふるも獨立を承認せず
二、スレースを希臘に割讓する事を拒絕し同地方に對しては自治權を與ふるか或は之を國際聯盟の支配に委す可し
三、スミルナは國際聯盟の支配に委す可し

日英同盟延期可能

デーリー、メール紙通信員は曰く日英同盟は自動的に一箇年延長せらるべき可能性を有し居るもの〻如く即ち本年七月二日迄に日英何れかゞ條約廢棄を通告せざれば自然延長せられ且つ同日迄に通告せざれば現條約の修正は許されざるべし（倫敦電報）

露國グーデター勃發か
對波蘭民主的假政府要求

露西亞にてはブルシロフ將軍に依りて準備されしグーデター將に勃發せんとしつゝあり將軍の同志等は波蘭に在りてワルソー政府に對し波蘭內に民主的露西亞政府の假成立を許されん事を求めたり（英斯科電報）

英露物々交換か
聯合國金塊受領拒絕

聯合國は物資供給の代償として露國より金塊を受取る事を拒絕する事に決定せり英露通商は先づ物々交換に依りて開始さるべし但露國に果して交換し得可き充分の物資ありや否や疑問なれども倫敦に於て或種の商議は勞農使節との間に行はれ居れり（巴里電報）

對露通商佛反對
英國穀物輸入希望

露國勞農政府代表者クラシン氏一行は目下倫敦に在りてロイドジョージ、カーゾン氏等と會見し英露物資交換に關し露國側の希望を縷說したる趣にて其の筋へも情報達したり蓋し英國としては穀物の輸入を希望し居ることは事實にして同國にては夙くより歐露方面より之が供給を受けんと欲しつゝありしが如何せん聯合國の對露通商開始問題の交涉捗せず大體に於て伊英の意嚮は一致し居れるも佛蘭西は依然強硬に反對し今回クラシン氏が英國を訪問したるに付いても佛國首相ミルラン氏は之を重大視し英國に對して豫め注意を喚起したりとさへ稱せられ居る程なり英國が果して如何なる商議をクラシン氏との間に爲したるや不明なるも佛蘭西の意嚮を忖度する時は英國のみ單獨に通商開始を取極めることは能はざる事情あれば若し英國が通商開始の交涉を進捗せしむるに於ては佛蘭西は之に反對するものと觀測せらる傳ふる所に依れば露國側は極秘の間に或る條件を提出したるものゝ如く即ち露國の實情は交通機關全く杜絕同樣にして國內に於てすら物資供給上困難を感じつゝある有樣なるを以て此際聯合國側より機關車、貨車の供給を希望しつゝありと云ふ然れども聯合國側にては露國の政府今猶不明にして彼の還露委員に對してさへ未だ答へざる今日なれば聯合國は先づ委員を發して實情を確めざる限り通商開始を爲す能はざるべし然れば英國に於てもクラシン氏と具體的商議を始むるとなかるべしと（東京電報）

米通商意思無し

[illegible]

佛委員經濟會議出席命令

佛首相ミルラン氏は聯合國經濟會議に出席せる佛國委員アベノール氏に對し露國クラシン氏との間に開かるべき經濟上の會議に列席することを命じたりアベノール氏は目下倫敦への途上にあり（巴里電報）

過激派波都侵入

波斯公使館の諒解する所に依れば過激派の先鋒は波斯首府テヘランに入れりと（君士丹丁堡電報）

尼港殘留同胞全部殺戮さる
要塞占領

海軍省公報＝臨時海軍派遣隊報告＝六月三日ニ港市街の占領に引續き要塞を占領せりニ港にありたる殘留同胞（海軍々人を含む）は五月廿五日頃全部殺戮せられたるものゝ如く又ニ港の西方三十五露里に避難し居れる露支人の妻妾十名を除き生存者一名も無し尚詳細取調中（東京特電）

主なる犧牲者

ニ港殘留邦人海軍々人百三十名全部殺戮されたる事は海軍省公表の通りなるが內譯は海軍軍人百廿名避難民十名にて主なる者は海軍少佐三宅駿五、同石川光儀、機關大尉楠原幹、主計大尉中村補雄、軍醫中尉清田亮、同特務少尉栗、機關特務少尉堀頭楠八外海軍下士十二名等なりと（東京特電）

尼市義勇軍編成

ニコリスク市街及び接續地義勇軍は最近再び編成せられ其の武器は完成せられたり（浦鹽電報）

莫市宛然秘密境
ペトログラード惡疫流行
反過激續々殺戮さる

英斯科電報＝ペトログラード及英斯科方面の情態に關しては今日迄全く不明にしてペトログラードは僅に芬蘭よりの通信に依りて實情を知り得るも英斯科に至りては全く交通遮斷せられ恰も秘密境の狀態に在り最近傳ふる報道に依ればペトログラードには惡疫流行し諸工業は停止の姿にて全市の人口は四分の一減せりと英斯科も亦同樣にして過激派政府は中産階級即ち新施政に反對する者又は反對の嫌疑者續々捕縛殺戮せられつゝあり一方物資の缺乏甚だしきを以て人民は生色なく唯過激派に屬する者のみ生活の安定を得つゝあり歐洲方面にて傳へらるゝ所に依ば革命以來露國人民は約四千萬人位減少し居れりといふも這は餘り大袈裟に過ぐるもの〻如し（東京電報）

和議續開準備

六日郵王揖唐氏より孫文、伍廷芳、唐紹儀氏等は和平會議を續開するに決し積極的に準備せんと打電し來り政府は之に同意し岑春煊、李純氏に此の旨傳達せり（北京電報）

吳軍一部隊鄭州到著

吳佩孚軍の一部隊は北上し河南省鄭州に達せり（北京電報）

增稅案と政府
態度決定

臨時議會に國防計畫の新財源として提出すべき增稅案に對し世上之を延期すべしと主張する者多きが政府側の態度として聞く所に依れば國防は一日も之を忽にすべからず又世上增稅延期論を唱ふる者は其の結果として生ずべき國防計畫財源の缺陷は之を一時便宜の方法を以て補塡すべしと云ふも國防計畫の如き恒久的性質を有するものに對し便宜的の方法を取つて財源となすは面白からず

吳氏駐在と工兵隊出發

吳佩孚氏は直隷河の北岸京漢線の中央地點に駐在するに決し工兵[illegible]

新總理へ更に休暇を與ふ

新總理の第三次辭表提出に關し總統は更に二十日の休暇を與ふ[illegible]

氣象日報（七日）

[illegible]

天氣豫報

[illegible]

新代議士の朝鮮滿洲觀
唯同情と誠意とのみ
衆議院議員　福井三郎氏談

我輩は餘程以前に故井上侯と共に朝鮮を視察した事があるが當時は未だお話しにならない時代であつた其時直感した事は此の民族は約一千年も時世に遲れて居ると云ふ事であつた、抑も內地と朝鮮との關係は三韓の當時より種々あつたけれども遂に要領を得ず奈良朝の終り頃には遂に關係を絕つに至つた、其間人物も隨分派遣し經費も使つたが目的を遂し得なかつた、其の後支那との

朝鮮の關係 に至つては支那の勢力の偉大を以てしても朝鮮を同化し得なかつた、總て他の一國を保護せざるを得ざる場合、何れの時、何れの處でも困難の伴なふのは當然であるが殊に日本の朝鮮政策は困難なる問題である、今日の政策の如きも大いに議論の餘地もあらう、我輩の私見に據れば統治權は絕對に保持すべきであるけれども朝鮮人の欲する處のものは充分に認めて遣らなければならぬ、而して我仁政のある處を感ぜしむる事が必要であると信ずる、抑も新領土とか、植民地とかの統治でもやらうと云ふ時には本國の內政に困難を感ずるやうな事では駄目である、植民地が

母國と關係 の深くなる場合は必ず母國の內政が統一し得ざる時代である此點は朝野の識者が銘記して居なければならぬ我輩は選擧には幸ひに當選したけれども今回理想やな思ひをした事はなかつた少しも買收の手段は用ゐなかつたが他の候補者より選擧民に對し種々なる手段を施したのは困つた困つた事であつた、當選後大いに感ずる處あつて西國巡禮を思ひ立ち妻と共に同行七人、笈を負うて京都府下滋賀縣等を歩いたが實に人情の徵を察する事が出來たが政治と云ふものに就ては何うも皆確な規定せる思想を持つて居るものが尠いやうだ成程生活は容易なやうであるけれども

地方の純朴 なる氣風は大いに失つて居る、國家として憂ふべきもの、ある事を感じた、殊に富豪に對する不平不滿は大なるものがあるらしい、我輩は政治の要道は己を治めて後に初めて人に及ぼす事と信ずる、聖賢の說として大學論語を講れば時代遲れの如く見做されるけれども決してさうでない歐洲の今日の有樣の如き原因は政治を經驗的に行つた結果社會主義を起したものである、日本も今日の有樣を持續するなれば次第に惡化する事を覺悟せねばならぬ、斯くの如く內政に於ても幾多不安なる問題の發生せんとする時、對鮮政策の

根本を確定 せんとするが如きは難い哉で先づ內政の方針を確立すべきである我輩は政友會員であるから黨議には從ふ義務があるけれども自己としての意見は又別にある、當局は今少しく民心の機微に觸れて其の何れに向はんとして居るかを知り、而して確乎たる方針を立て指導すべきである、對鮮政策の如きは所謂高壓でもいけない、又所謂懷柔でもいけない、唯同情と誠意とを披瀝する外には何等の途もないものである事を信ずる（東京支局）

府は當初の方針を變更せず改正案を臨時議會に提出するに決したりと（東京特電）

農商次官後任
三土忠造氏說

大塚農商務次官は貴族院議員勅選後國際勞働會議の常任理事を命ぜられたるが其後任は政友會の三土忠造氏なりとの說あり右につき大塚氏は曰く『敢て勅選になつたからこいふ譯ではないが平和條約實施に伴なひ國際勞働局理事會を常設し我日本帝國も聯合八大國に共に代表者を簡派する事となつたので自分に內命が下つたのは本當である出發期は本月八日伊太利總局に開催の同理事會で開設地を決定する筈であるから其通告に接した上正式に補助委員を任命して出發する順序になつて居る尚長期の事故在職の儘では差支あるを以て次官異動は免れぬだらう要するに內治外交は自然戰爭に伴ひ科學的專門知識を要するが外交も亦科學的知識を增加しなければならぬ隨つて外交官も單に外交專門だけでは困る場合があるであらうと思ふ』云々

北海道當選者

北海道第九區網走、根室、釧路、河西支廳內の衆議院議員總選擧開票の結果左の如し（東京特電）

第九區　小池仁郞（憲前）
同　木下成太郞（政元）

滿鐵正副社長等辭職

野村滿鐵社長中西副社長松本理事は十九日の總會にて附屬地問題其の他經營上の機宜を失ひし責を引き辭職の意ある旨を發表し株主一般及び政府の信任を窺ふ可しと（大連特電）

山縣長官著期

山縣關東長官は十五日哈爾賓丸にて著任の筈（大連特電）

朝鮮遞信施設
總督府遞信局長　竹內友治郞氏談

今度新に朝鮮總督府遞信局長持地六三郞氏辭任の後を承けて朝鮮に赴任すべき元東京遞信局長竹內友治郞氏は六月十日頃持地前局長の著京を待ち事務引繼を了したる上渡鮮すべきが氏は語る『遞信事業が文化的進步に伴ひ又

直接の關係 ある事は申す迄も無く今回朝鮮に赴任するに當りても新なる施設を要する事多々あるべきを信ず、予は大正三年樺太廳の拓殖部長たりし際約三箇月に渉り南北支那を視察せし時朝鮮を過ぎ京城に一週間滯在せし事あり、最近の財界の好況は遞信事業殊に電話の需要を促し又一般郵便物の激增は從業員等を得るにも頗る困難を感ぜしが既に財界も轉期に入りたれば今後勞力の拂底に苦むが如き事は無かるべし、要は朝鮮の遞信事業の如き朝鮮の民心の進步に伴ひ又西伯利滿洲に於ける經濟施設の發展に連れ內地との通信連絡の敏活として急速の進步を見ざる可からざるはもとより其所にして又內地の通信法規の一部を變へば新聞電報料後納規則等の未だ朝鮮に施行せられざるものあり之等は赴任の上愼重なる考慮を加へ適當の措置に出づる事となるべし』（東京支局）

麥作豫想

大正九年麥作は冬季間近年稀有の積雪に覆はれたる爲例年の如く寒害を被るとなく又早春氣溫も頗に上昇せる爲生育頗る順調なりしが其後四月より五月に亘り降雨極めて少く旱天打續きたるを以て地方に依り旱害を被れるものあり一般を通じ作柄良好と謂ふべからず特に大麥は熟期の早き關係上旱害を被れることが多し今六月一日現在の作況に徵するに其の收穫豫想高大麥七百廿八萬五千五百六十二石小麥百八十一萬六千七百六十三石にして之を前年の實收高に比すれば大麥は一步八厘の減收小麥は六步の增收なり道別收穫豫想を表示すれば如左

道名	大麥（石）	小麥（石）
京畿	五四〇、八九二	一三三、一〇七
忠北	四四三、〇三一	九四、六三五
忠南	六六六、二〇一	九八、三〇〇
全北	三九八、三三一	七六、七五一
全南	一、一三三、四九四	一四一、〇七七
慶北	一、六八四、〇一四	三三五、一四〇
慶南	一、四四九、七三二	一一三、七三四
黄海	一〇一、七五五	四〇九、〇五六
平南	一四八、一四一	一三六、四六八
平北	五九、四四三	五二、三三三
江原	一四一、六六六	一五〇、八一九
咸南	三三三、六五九	四〇、七七三
咸北	一三六、〇六六	一、八二三
合計	七、二八五、五六二	一、八一六、七六三

停滯約二十萬袋
滿洲粟暴落＝苦痛は賣行不良

朝鮮の米作前年旱魃なりしため總督府にては食料不足補給の意味より有力穀物商に對し滿洲粟の輸入を慫慂しその輸送上の便宜を滿鐵に協議し優先權を附與する事となり結果古川商事、鈴木支店共益社不二興業滿洲出張所等を主とし鮮地の買附は百萬石約四十萬袋に上りたるが財界逆轉と共に落潮甚だしく貿易品賣行不良の結果買附商店に於て產地解合を行ひし額少なからず結局最近までの輸入高は八十萬袋約六十萬石と稱され居れり右の中既に消費されしもの四分の三內外にて現在の滯貨は京城の九萬袋元山釜山の各三萬袋を主とし全鮮の合計二十萬袋十五萬石內外なるべし一方市價は上物買附一袋二十六圓內外のもの昨今は十五圓見當に暴落し居れるにつき停滯品二十萬袋の値下りは約二百萬圓を超ゆる勘定となりそれに基づく金利藏敷等を見積れば當業者の損失甚大なれど各手筋共暴落前の收金少からず彼此相殺すれば輸入穀商の蒙る實害は必ずしも大ならざる如し唯穀商の苦痛は價頓の如何を問はずその賣行の不良にありと

仁川期米大崩落
卅二圓台＝百四十五丁下放れ

新甫を三十九圓十錢に寄付し天候案じ植付難を唱へられたる仁川期米は財界大勢不況を賣りて敗派の仕掛てる大阪期米に比し一時二百餘丁の逆鞘を呈し仁川は仁川獨特の相場を演ずべきかと思はれたるも遂に連日降雨を見せる大阪安に牽引せられ日々百數十丁の低落を續けたる揚句七日休日前の天候は晴雨定まらず其の一晴一雨の相場に影響する所大なるものあらべしと觀測せられたるに果して七日午前の降雨は稍降り足る觀ありしに加之大阪三十一圓八十錢の大安寄を傳へ續きて一圓十一錢の氣配れを入れたるを以て仁川期米七日前場は三十三圓八十錢と休日前後場止めに比し百四十五丁安に寄付き其儘低落遂に三十二圓二十五錢の新安値を表はすに至れり從つて大阪この逆鞘は漸次接近し來り百丁方に縮まれり尚引續き財界不況を根據に弱氣一貫を主張するものと暴落後の反騰を期待する買戾との見解あるも結局內地次第と云ふ狀況ならんか

綿布資金融通決定
各銀行態度決定＝鮮銀援助

財界動搖の結果意外の打擊を受けたる對京仁綿布卸商の資金融通問題は過般來綿布商の組織せる臨時金融組合と銀行業者との間に折衝中の處銀行側に於ても綿布商の金融不如意に起因する財界一部の不安を除去するの必要を認め六月四日銀行集會所內に開催せる銀行業者協議會に於て相互諒解の下に左記方法に依り所要資金百七十五萬圓の融通をなすことに決定せり尚朝鮮銀行に於ても此貸出に關しては中央銀行として向後必要に應じ市中銀行に對し資金の援助を辭せざることを聲明せり

一、綿布商の現在手持品並に引續き入荷すべき約定品に對する融通額百七十萬圓
二、右融通資金は現在の手持商品代金の支拂及買値鞘の決濟以外に使用せざること
三、融通の形式は加盟商店より手持商品を組合に提供し擔保價格を評定したる上之を限度として當該商店振出の手形に組合員連帶責任を負ひ組合代表者保證し支拂人の取引銀行より融通を受くること
四、各手形の期間は六十日以內とし組合代表者の保證手形は大正九年十月三十日迄に全部決濟のこと

右の方法に就ては總督府當局の承認を得たる由又七日朝鮮銀行に於て銀行對綿布臨時金融組合の調印成立せしにつき直ちに資金の融通を開始すべし組合の事務所は多分共益社內に置く事とならん尚ほ資金は鮮銀に於て必要分の融通を聲明し居れど總額に於て多からず殊に各銀行共貸出警戒の結果手許の餘裕ある樣なれば鮮銀を煩はすには至らざるやも知れずと

綿商損失幾何
四百餘萬圓か

綿布資金問題は前項の如く疏通したるが這回の綿布價暴落により綿布卸商側の損失額は何に上れるや聞くに觀測一ならざるも大體に於て京城綿布商の手持品（京城並に地方及大阪在庫を合し）約一千二百萬圓內外にて右の外先物の買約分約六百萬圓見當と註せられ合計一千八百萬圓內外なるべし右は現物先物共解買分を差引きたる殘なるが現在の時價を綜合して觀るときは約二割五分の下落を來し居れるやうにつき暴落に基づく損失は四百五十萬圓內外と推斷して大過なからん從つて若干商店の受けたる打擊は激甚なれども之に於て多數商店は既往の莫大なる利得より見ることさしたる額に非ざるべしと

鮮商側の問題

綿布卸商側の金融は玆に解決したるが尚問題として殘れるは（一）中間商とも目すべき鮮人綿布商（二）麻布商に對する金融疏通方法たり右に就て木村鮮銀理事は數日前共益社々長朴承稷氏の來行を求め鮮人綿布商の金融疏通方法も內地人卸商式の方法に出づれば出來得る限り好意を以て斡旋し財界の動搖を防止すべしとの意味を傳へたる由にて朴氏もその意を了し引取りたりと

仲間取引弊害

綿布卸商還間の窮境は結局需給關係に多くの基礎を置かざる仲間取引の弊害を曝露したるものにつき銀行側は現實の事例に徵し出來得る限り今後は仲間取引の控制を警告する由

麻布解合成立す

鮮支商間麻布解合問題は京城商業會議所の斡旋により圓滿的協議より更に單獨的協商に移り短時日の間に屢々協議を重ねたるも兩者の主張に懸隔ありて最後の手段に訴ふるの外なき絕望狀態にありしが其後共益社の朴承稷、趙同昊及び金應龍諸氏の盡力の結果支商側も假りに訴訟を提起するも短日月の間に

解決を見難 かる可く且其間の相場の變動如何又商品の分に對する懸念等種々考察し來れば此際三氏の勸說によりて應諾するの得策なるを信じ兩者相讓らざりし解合問題も昨六日午後急轉的に解決を見るに至れり即ち其解合條件は個々別々の解合にして資力關係其他によりすこしも同一ならず結局麻布値下を三割五分と推定し此を二分の一三分の一四分の一五分の一と種々なる割合にて鮮支人間に分擔することゝなりひし麻布四十萬圓（內三萬餘圓は鮮商の斡旋にて解合濟）數量約千個は殆んど全部解決したり唯鮮商側綿布組合員外なる理由にて京仁合元昌商會兩者に係る約二萬餘圓は前々よりの關係上其調停を京城商業會議所に託し其結果を七日午後一時より兩氏を招きて會議所にて協議を進めたるが多分解合に一致すべしと觀測せらる

金融組合概況

金融組合は明治四十年以來漸次設立せられ孰れも大正九年三月末を以て大正八年度の決算を終れり同月末に於ける全鮮金融組合の狀況を聞くに

組合數 三百九十三、組合員數廿一萬九千十一人にして出資拂込濟出資金百七十五萬六百六十九圓、基本金二百八十萬、積立金八十九萬六千五百廿六圓、借入金千三百七十八萬千四百六十三圓、預かり金六百八十四萬七百七十八圓、貸出金二千三百萬九千六百十三圓、預け金及現金二百六十八萬三千六百六十九圓、朝鮮殖產銀行媒介貸付金四百七十二萬千六百圓に達せりこを大正七年度末即ち前年三月末に比較するに組合數百九、組合員數七萬八千三百五十五人、拂込濟出資金九十六萬八千卅六圓、基本金十八萬二千圓、積立金九萬五千八百十三圓、借入金千百八十二萬六千六百九十一圓、預り金四百六十二萬四千百四圓、貸出金千六百七萬八千七百卅四圓、預け金及現金百五十四萬七百卅八圓、朝鮮殖產銀行媒介貸付金二百九十一萬八千二百六十七圓を增加せり而して右の內殊に

預り金 及び貸出金の激增せるは大正七年度末より大正八年度に涉り設立せられたる都市金融組合の一齊に活動を開始したるに由るもの與りて力あり尚又村落金融組合も金融組合令の改正に依り村落金融組合が預り金の吸收及び生産的資金の貸出に努力を致せるの結果なりと

仁取仲買增員

仁川米豆取引所仲買人の增員は去る三日の同所重役會に於て申込者二十餘名中より五名を選び當局に許可を申請したる模樣につき近く增員決定すべし而して右の結果仲買人は廿五名とならん

實銀專務後聞

豐田實業銀行專務內定につきその後聞く所によれば氏の推薦は美濃部鮮銀總裁之をなすものなるべく一應鮮銀の人となりて實銀に入るべしとの說は否認されつゝあり又支配人は峯尾吾三郎氏京城より引繼がるゝやうの噂もあれど氏は之れを否認し居れり結局峯尾氏は取締役に就任し調査役的の事務を分擔する事となるらん從つて支配人は豐田氏に於て詮衡する譯なるが候補者はなき模樣或は當分豐田氏の兼任となるやも計り難し

總督纛島視察

齋藤總督は六日午前九時廿分自動車を驅つて纛島模範場に至り附近の視察を爲し正午歸邸せり

政務總監出張

水野政務總監は伊藤秘書官、藤波通譯官を隨へ七日午前十時西鮮地方視察の爲め出張せるが往復六日間來る十二日歸任の豫定なり

持地前局長歸東

持地前遞信局長は家族を引纏め七日午後七時二十分南大門驛發列車にて歸東せり

關門記者團入城

關門記者團一行九名は六日午後八時入京朝鮮ホテルに投宿せり

加藤本社長東上

加藤本社長は往復十日間の豫定を以て八日午前十時南大門驛發列車にて東上すべし

十盧

政府は西伯利派遣軍の守備區域を縮[illegible]すべく先づチタ方面の軍隊を全部滿州里若くは哈爾賓地方に引揚げ爾餘の軍隊は之を內地に還送することに決定したとか▲セメヨノフ將軍は日本の援助如何に拘らず斷乎として赤軍に努力すると云ひ▲民主派には緩派とウエルフェ派と分立するものがある西伯利の治安果して樂觀して可からうか▲其れは扨て置き其うなれば派遣軍に要する經費は其れ丈け不要になり國庫に其れ丈けの餘裕を生ずる譯だ▲其の餘裕が如何に處分せらる、かは勿論門外漢の知つた事ちやないが▲夫れに付けても彼の社會政策を加味した所得稅法案の運命が何なるかいらぬ心配だと云つて仕舞へば其れ丈け▲米國の大統領選擧は却々猛烈を極めて居る今度は何うしても共和黨が勝たねばならぬと大童の奮鬪▲其候補者として最も有望なのは排日知事のジヨンソン君とウツド將軍だとの事▲他國の軍國主義を攻擊する米國が却つて戰勝將軍に隨喜するは聊か不思議だが▲日本も萬事此の呼吸で進んで貰ひたいものだね▲ウイルヘルム二世の第四子は獨逸革命運動を牽る配所のウイルヘルム亦帝位復活を望むと▲新しき英雄の夢も哀なりけりだ▲府廳の塀に立てかけた學議候補者の看板は日々に高さの競爭をやつて居る▲中には突拍子もない高い奴がある其の高低が候補のバロメーターでもあるまい

公會私會

▲喜田博士歡迎會　七日午後七時より目下入城中の喜田文學博士の歡迎會を奉祝館に於て開催せり
▲軍司令官設宴　八日午後七時入城中の奉天督軍町野中佐を招待し晩餐を共にすべしと
▲香川縣視察團招待　香川縣教育視察團一行二十二名の來城を機として同縣よりは移住民の關係者接待なし東拓支店にては六日午後七時より朝鮮ホテルローズガーデンに一行を招待し款待せり

人事消息

▲喜田文學博士　八日夜歸東の途
▲今村元山府尹　六日夜入城京城ホテルへ
▲阿部充家氏（國民新聞副社長）　六日朝出發北鮮へ向ふ十二三日頃入城の豫定
▲內田守藏氏（辯護士）　六日公州へ出張八日歸城の筈
▲本木房吉氏（辯護士）　七日清津へ出張
▲香川縣視察團一行二十一名　五日午後六時五十分着列車にて入城
▲日野梅太郎氏（京管監查主任）　六日夜歸任
▲國分擬事長　五日午前九時卅分にて內地より歸城
▲町野中佐（奉天督軍顧問）　六日夜入城巴城館へ
▲瓶子大尉　同上
▲中村工兵大佐（滿鐵囑托）　東上の途次京城に泊七日發
▲香川縣教育會代表者滿鮮視察團一行二十二名は五日午後七時入城して五日六日兩日京城及仁川見學の上釜山に至り歸縣の途に就けり
▲那波德氏（總督府營繕課長）　因病の爲引籠中なりしが七日より登廳
▲清原德次郞氏（會計檢査官）　去月十二日より龍山鐵道學校工事の會計檢査を爲せしと

獨波問題審議

伯林よりの報道に依れば數週間前伯林に於て秘密會議あり獨波間の武力衝突問題を審議し數名の國務大臣出席したるが何等決定を見るに至らざりき(巴里電報)

英追加軍隊出動切迫

愛蘭に向け追加軍隊の出動切迫し海兵及び陸兵の若干は二隻の戰鬪艦に乘船しつゝあり多分クインスタウンに向ふなるべし最近シンフエン黨の陸軍屯所を襲撃せること八箇所に及べるが何れも不成功に終れり(倫敦電報)

南露農民暴動

信ずべき筋の報道に依れば南露に於て重大なる農民の暴動起り終に鎭壓せられたるが其際數百名の農民殺害されたり(倫敦電報)

湖南都市陷落

湖南省の益陽、永寶、納山等陷落し張敬堯氏より援兵增派の請願りなり(北京電報)

和議準備を急ぐ

唐紹儀氏より王揖唐氏に對し和議締結を申込王氏は之を承諾せり岑春煊、陸榮廷兩氏を除く南方側は北方と講和交渉を進むる旨の宣言に依り再び講和を上海にて行ふ準備を急ぎつゝあり(上海電報)

北京政府和議促進通達

北京政府は南北名士に對し和議促進方を通達せり(北京電報)

飛行機借欵商議事實

米支通信社は嚮に報ぜるカーチス會社と支那海軍との飛行機借欵は誤聞なりと取消せるも南方商議中なるは事實なり(北京電報)

鮑督軍來奉

鮑督軍は病氣の爲め更に一箇月の請暇を得し天津に滯在中なりし鮑吉林督軍は突如五日夜來奉城内に入りたるが用件は不明也(奉天特電)

本多氏駐支公使說否認

目下支那漫遊中の前滿洲西駐箚公使本多熊太郎氏上海に著せるが氏は駐支小幡公使の後任候補なりとの說を絕對に否認し今回の支那漫遊は何等政治上の意味なき旨の發表方をロイテル社に依賴せり(上海電報)

我が南洋の版圖

島民教育は成績佳良 海底電信と通信會議

南洋派遣艦隊參謀長海軍大佐 森初次氏談

海軍の勢力を計算するには種々の方法あり其の計算法に依りて非常なる相違を生ずるが、南洋に於ける列國の海軍力は日本の海軍力に比較して米國は倍數以上の勢力を有し、英國は三倍以上である

各國の計畫 しつゝある擴張計畫が將來完成された場合は其差等は益々甚だしくなり殆ど問題にならぬ。南洋諸島の官衙は占領當時防備隊の使用した建築物を其儘使用して居るが本年度內には建築物も多少出來るであらう島民は柔順な性質で日本の統治を非常に喜んで居る又我國でも占領以來大に

島民の教育 に盡して是迄よりは度々勅使を御差遣遊ばされた結果、彼等も日本の勢力及び事情を諒解しながら解るに至り總てに良好の成績を擧げて居る。現今在留の外人は獨逸人は一人も無く米人英人が多少居住して居るのである。問題の海底電信は現に日本に使用して居る物は當然日本の物となるべきもので、國際聯盟の通信會議の議題となるものは未だ日本で使用しない部分が多少あるから同會議の結果日本が使用する事が出來るやうになれば非常に有利で軍事的にも價値があらう漁業は有望ではあるが何分漁業の方法が幼稚であつたから成績が擧がらぬけれども進歩せる漁法に據れば可成りの成績を擧げ得るであらう。昨年の如きは鰹の

幼稚な漁法 で漁獲すら餘程あつた位である。魚味は內地の其には比すべくもないが不味なる魚でも島民は非常に好んで居る、と云ふのは何分海が深いので從來島民は魚を充分に喰ふ事が出來なかつたからである。同地の漁業は殆んど琉球人の經營に屬して居る。需要地としての最近の都會は英領メナードで四五日間で達するから

保存方法に 講究を加ふれば將來南洋の漁業は眞珠の採取と共に有望なる事業の一つであらう。昨年十一月末頃南洋の鮮人砂氏と南洋拓殖會社の當

慎重調査中

事者との間に賃金の事から爭ひが起つて遂に鮮人側に死者二名を出し双方に負傷者數名を出した、當局者は非常に心配して居る公平なる裁判を與へるべく慎重調査中であるが未だ公表の時機に達して居らぬ(東京支局)

大連より

三突生

大連に來りて、何人も先づ見度しと思ふものは、其の埠頭なるべし予は埠頭所長相生由太郎氏の好意に依り、所員の案內にて、大連新聞記者石川一水君と共に、大豆豆粕の倉庫並に野積の狀況を視察したく見るを得たり。其の雜役に使用するクリーの數七千餘名、一日の賃金參拾萬圓と云ふに徵しても、如何に其の大なるかを想像するに至るべしと被存候。海關所長の語る處に依れば、同港出入の貨物噸數、大正四年度には、輸出百七十三萬二千八百六噸、輸入五十三萬七千二百三十噸、計二百貳拾七萬參拾六噸なりしものが大正八年度には、輸出に於て二百八十壹萬三千百五十八噸、輸入に於て百四十壹萬六百十九噸、合計四百貳拾貳萬參千七百七十五噸に增加し、諸埠汽船の隻數も大正四年度に於ては二千百十三隻其總噸數參百四十六萬千五百三十噸なりしもの、大正八年度には二千八百九十一隻の四百參拾八萬九百貳拾圓に增加せる由、以て大連港の價値を卜すべく候。尙ほ埠頭所長は此港なして、近き將來に於て少くとも千五百萬噸の輸出入港たらしむる理想を有し居れるやに聞及び候蓋し是れ決して難事にあらざるべし。

大連港の大なるは、滿洲產業の發達を意味す。滿洲產業の發達が滿洲經濟の進展を意味す。滿洲經濟の進展は、總て西勢の東漸に豫防する基となる。而して是れ實に東洋平和の爲め、我が忠勇なる同胞が、鐵と血に依りて獲たる結果にあるを思ふ時、吾人は一種の感慨に不堪候

予は突然客地に於て病床に呻吟するの身となり、豫定の日程を經過すること正に三日、大連の埠頭と與に見遁すべからざる。油房を觀察するを得ざりしは、誠に殘念に存候 草々不一

硝子工場有望

●滿鐵●よりの●拂下げ● 株式組織にて經營

滿鐵秘書役荷潤規矩雄氏は滿鐵會社の多大の援助の下に鳥取縣より代議士に當選し過日歸任したるが氏は近く滿鐵會社を辭し一先づ歸國の上更に滿洲に歸來り滿鐵中央試驗所にて經營し來れる硝子製造工場の拂下を受け二百萬圓の株式會社を組織し其の社長となる筈なるが同工場は滿鐵會社が多年實驗し來り數千萬圓を投じて經營せるものにて利益確實なる上に拂下げ價格亦非常に廉價なる由なれば硝子會社の有望なるは云ふまでもなく現今財界不振の極なるに拘らず該會社株式引受け希望者甚だ多しとの事なり之が現幹部か有利の利權に指を染むる始めなるべし(大連)

大連便り

滿鐵社長東上

野村滿鐵社長中西同副社長は來る十九日東京に於て開會する滿鐵定時株主總會に出席の爲め八日午前十時大連發ハルビン丸にて東上す

冗員淘汰眞相

滿鐵冗員淘汰は設調理事二名の職三名の傭任課長級約五十名を罷免する計畫なりしが其後計畫を改め理事は當分異動せず課長級にて約二十名罷免さるゝ筈他の社員の總數未だ確定せず社手當其他にて約三百萬圓を支出し此の資金は今回中西副社長の渡鮮し歸りたる一千五百萬圓の內より支拂ふ筈にて此れまで淘汰を實行し得ざりし理由は退職手當等を支給する資金になかりしが爲めなりと稱し居れり

鑛業に關する著作

大連西公園町ヶ岡居住滿鐵地質研究所員影山虎四郎氏の編纂せる支那鑛業諸規定は朝鮮方面の鑛業家の熱望甚だ多き爲め氏は今回更に改訂增補を加へ第二版を出版し第二版以後は重要なる

財界閑話

▲朝鮮銀行は商業金融機關として堅實な經營を續くる事となつた▲株屋方面では同行の株式金融を顧慮なきを遺憾とし▲又た力株主達も左樣の意向を持してゐるやうだ▲然し銀行の本質は本質だ、結局現株市場の機關でないにしてもその主力を株式金融に注ぐ事は間違ひなからう▲看板を株式銀行にせぬでも事實が自然さうなればそれでよいわけだ▲取引市場はその內定期取引所にもなるのである▲乃で取引市場の重役が鮮銀の重役をやつてゐては面白くない▲と云ふのは鮮銀ばかりでなく一般有識階級の聲である▲殊に中村京鮮取の如きその論者らしい▲尤も市場重役の一二は銀行重役病に罹つてゐるとも云ふ▲それらの人々は市場銀行重役交互關係に差支なしとの態度も密にこつてゐるやうだが▲餘り慾がありすぎるとこぶもの近い察際の例は橫濱にあり突▲實銀專務內定の豊田君は先月中旬來市中に姿を見せてゐる▲來城の理由は『此の方角に四十五日ばかり行つて居れ』と云ふ事をある易者にすゝめられたからだ……と眞面目に自分で云つてゐた▲そこに實銀關係を生じて來たのでハハア……讀めたと云つてる者もある▲その易者は某大銀行の重役らしい

鑛業諸規則諸條例及條約等の表ある毎に印刷して同書所有者に分頒する筈なり同書は影山氏が三ヶ年間の慘憺たる苦心の結晶にて支那に於ける鑛業現行規定は全部網羅したるのみならず支那古代よりの沿革及鑛業權に關する支那と對列國との條約全文あり關東廳鑛業條令の附錄をも記載しあり

法人登記公告

龍山金融組合理事富山武盛ハ大正九年四月貳拾九日辭任同月參拾日京城府元町貳丁目六拾八番地藏城松次郎理事ニ當選就任セリ

右大正九年五月拾八日登記

法人ノ目的 京城天主敎會ノ名稱 京城府明治町貳丁目壹番地目的 京城府天主教會財團法人ヶ立 名稱 京城教區天主敎會維持財團 事務所 京城府明治町貳丁目壹番地 目的 京城教區天主敎會ノ宗敎、敎育、慈善事業ヲ爲スニ直接必要ナル不動產ヲ所有シ維持シ之ヲ供給スルチ 設立許可年月日 大正九年五月八日 資產ノ總額 金八拾七萬七千貳百貳拾五圓 出資ノ方法（一）京城區天主敎會所屬各宣敎師及其他ヨリ寄附スル不動產（二）每年佛國西巴里外邦宣敎會ヨリノ寄附金及其他ヨリ寄附スル財產（三）本財團ノ所有スル財產ヨリ生スル果實 理事ノ氏名住所 京城府明治町貳丁目壹番地 佛國人グスターブ、ミユーテル 同所同國人ボアネル 同所同國人アラリボ 同所 韓其根 京城府元町四丁目壹番地金聖學

右大正九年五月拾九日登記

私立東洋協會京城專門學校ハ大正九年五月壹日名稱ヲ財團法人私立京城高等商業學校ト變更シ同日事務所ヲ京城府黃金町參番地ノ壹、參番地ノ貳、四番地五番地貳番地六番地七番地ノ壹、五番地ノ參、五拾參番地五拾貳番地五拾參番地五拾四番地五拾五番地五拾八番地ニ移轉ス

右大正九年五月貳拾壹日登記

朝鮮鑛業會理事川崎繁太郎、川崎鶴太郎ハ任期滿了ノ爲大正九年五月參拾日重任シ同日京城府壽町四番地中川湊、黃海道黃州郡兼二浦松田貞治郎理事ニ當選就任セリ

右大正九年六月貳日登記

京城地方法院

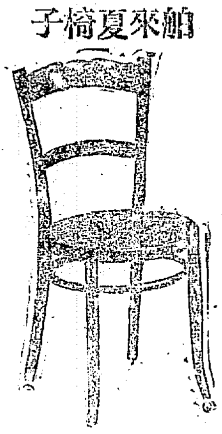
梅毒腫物下疳横痃切疵火傷、痔疾等の良藥は

無二膏

定價 十錢 廿錢 五十錢

本舖 大阪市東區淡路町 中井馬鑑製

御求めの節は馬の商標に御注意を乞



手輕で體裁がよくて懸け心地のよい夏椅子が着荷致しました

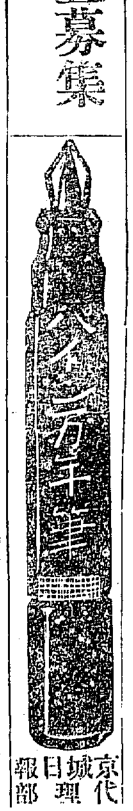
京城本町二丁目
株式會社 熊平商店
電話 長六四番 三〇二番

精撰香油 すゞらん すみれ油 かぶらぶ油

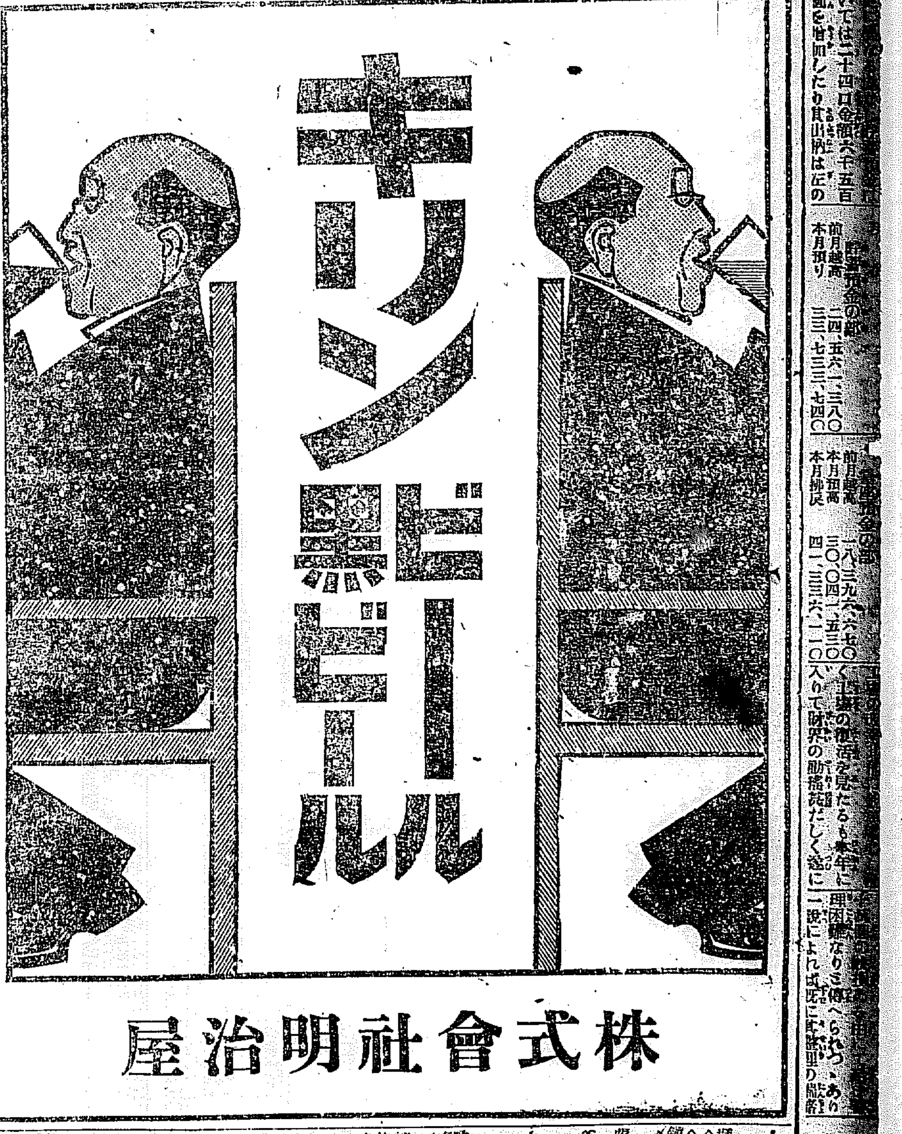
本店 東京 井上善
支店 大阪南久寶寺町四丁目 藤森源之助 電話船場一七八番

朝鮮總督府內地人巡查募集

試驗ハ六月十八日京城警察官講習所及各道第三部ニ於テ執行



京城日報代理部



株式會社明治屋

眞に本邦人の整容美髮の目的に適すべく精製せる

◎ミツワ石鹼

石鹼を洗顏入浴に使はない方はありますまいが、純正な品質を具へて肌や頭髮の爲になり、化粧の下地を整へると云ふ性質の石鹼を選ばれば、使つた甲斐がありません、此目的に叶つたものは、數多い石鹼中で獨りミツワ石鹼のみが、此條件に適してゐますと云ふ理由は即ちミツワ石鹼は本邦人の皮膚毛髮の洗滌に、最も適するやうに本邦人の皮膚組織を研究して、精製したもの故、毫も刺戟を感ずる虞なく、溫雅な芳香を有し、適度の溶解性を具へて、浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂ひがなく、頗る家庭經濟に適したもので、肌膚を整へ、化粧を助け、色艷を美くして白粉の乘伸を自由にし、光彩ある化粧を發揮するのに、最も肝要な理想的洗料であります。それ故現今ミツワ石鹼の聲價は、國產石鹼中に優位を占めてゐます、これ全く此石鹼が卓越した特徴を有し、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に必要であるからです。

特徴

一、原料の嚴密なる精選は、脂肪に香料に苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひない。

一、本邦人の嗜好に適する溫雅な芳香がある。

一、適度の溶解性を具へて、能く水にも溶解し而も浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂がない。

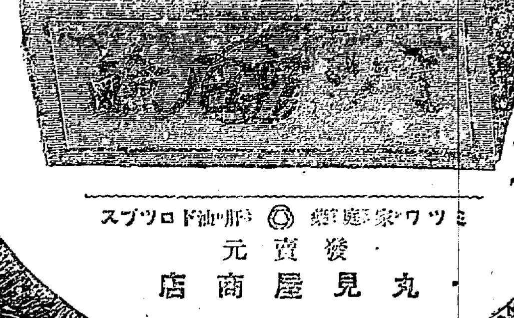
一、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最も好適である。

一、頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ。

◎ミツワ石鹼	定價一個	金參拾參錢
◎赤色ミツワ石鹼	定價一個	金四拾錢
◎ミツワ芳香石鹼	三十帋	金四拾五錢

大形	金參拾錢
中形	金貳拾參錢
小形	金拾六錢
極小形	金七錢五
水石鹼	金參拾五錢

內地以外は關稅運賃を加ふ



ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス

發賣元 丸見屋商店

大阪商船出帆

川出帆

仁川木浦大阪行 天智丸 六月十八日後四時
天草丸 六月卅一日後四時
鎭南浦安東縣行 第二大運丸 六月十三日後四時

元山出帆

西湖津、新浦、城津行 安平丸 六月十五日後九時
釜山門司宇品神戸大阪行 宮島丸 六月八日後十一時

大連出帆

上海基隆打狗行 湖北丸 六月廿五日後四時
基隆丸 六月 日正午

內地各港出帆主要航路

歐洲行一年四回 北米行每月四回 南米行一年四回 南洋行每月一回 濠洲行每月一回

御往復の際は御旅行前に乘船の御申込あれば萬事便宜を取計ひ申すべし

大阪商船株式會社京城支店 電話二一〇番

日本郵船仁川出帆

大連天津行 宮島丸 七月十日正午
濟州丸 七月三十日正午
竹島丸 八月二十日正午

尼崎汽船出帆

仁川出帆 釜山木浦下關神戸大阪行 太湖丸 六月 日後四時
一心丸 六月 日後四時
大有丸 八日後四時

互光商會汽船出帆

第一新浦丸 元山、西湖津、新浦、城津、清津行

共同汽船仁川出帆

大連直行 第二共同丸 六月 日正午
金澤丸 六月 日前
阿波共同汽船株式會社

朝鮮郵船定期

平壤丸 京城 仁川取扱店 吉田運輸
釜山出帆(取扱店大池回漕店)

江原丸 忠淸丸 全州丸 京城 巨濟丸 濟州丸 公州丸 興州丸 平安丸 成鏡丸 忠州丸 平壤丸 越後丸 金州丸 濟州丸 鏡城丸 昌平丸

朝鮮郵船株式會社

死んだ智惠子
清華亭の一人娘
＝美しかつた彼女の性格＝

智惠子は清華亭の一人娘として女將のおトクさんに愛育された藝妓である何事にも無頓着な稚氣と艶麗な容姿とで彼女は誰にでも可愛がられないことは無かつた▲まだ智惠子が數年前花月に雛妓で居つた頃文藝倶樂部の口繪に載せられたが内地の或大學生から自分の死んだ許婚に酷似して居ると云ふて彼れを慕つた永い手紙が來て當時新聞に掲載せられた事もあつた▲智惠子は幼さい時から今日迄何日必ず日記をつけなかつた日はなかつた十歳頃迄の日誌は一日二日より三十一日三十二日三十五日迄書いて更に一日より三十五日迄を繰返して皆を笑はせた其日記を毎夜枕の下に敷いて寝るので取出して讀んで見ると何の頁も『お母さんに叱られた』『××ねエさんに叱られた』叱られたの一點張りであつた▲其頃同じ花月の雛妓トンボ今の品家の岩菊とは大の仲よしであつたが毎晩帳場へ來て自分の出る座敷を調べて見て若し其晩生憎お座敷が定まつてないとサッサと部屋へ引揚げて仕舞ので そんな場合には智惠子とトンボとを遊ばせて置くよりはと云ふので お客の有る座敷の番號を書いて置くと承氣になつて四つでも五つでも座敷を働いて廻つた▲智惠子は非常な人形好きな妙であつた其内によし子さんと云ふ好きな人形があつた此よし子は故人になつた吉野氏が智惠子に買つて呉れたので何年となく實妹のやうに可愛がつて居た▲智惠子が病院して今度入院しても相變らず自分の隣りのベッドに飾つて唯一の慰安として居たのはこの人形であつた▲死ぬる二三日前おトクさんは智惠子に『お前は此様に病氣で苦しんで居るのによし子さんは何時も達者で居るがよし子さんは身替りに少しは病氣を引受けてやつて呉ればよいのに』と云つたが智惠子は『エ・よし子さんは少しも私の見替はりにはなつて呉れませんワ』と答へた▲丁度見舞に來て居る人がよし子さんは此暑いのに矢つ張り厚い着物を著て居るぢやないですかと云ふと彼れは『私も五六日の内には退院して歸りますから歸つたらお母さんに頼んで單衣を縫つて著せませう』と笑つた▲其話の通り彼れは死んで家へ引取られよし子さんには新しい白い衣類が著せられて一つ棺の中に納められた▲而して智惠子は目下の者を可愛がつた小さいながらも彼の社會に無くてならない俠的な精神を持つて居た女だつた

産婆と助産婦 (七)
人工流産の是非
木下醫學博士講演

外國なごの例を見ると人工流産なごの場合には自分には自分以外に尚一人相談する醫者を依頼しなければならぬ規定になつて居る。吾々醫師が

人工流産 を了ふ場合には餘程愼重なる態度を執る。何故ならば人を濟ふべき任務の者が人を殺すのである。縱し夫が母親を助ける爲めになされるのであつても其の子を殺さなければならぬこいふのは實に心苦しい極みであるからである。能く世間には母親の命が助かるならば其の子は怎うなつても差支ないと云ふ人があるが、私は

實に殘酷 なことを謂ふ人だと思ふ。成程腹の中に居る子供は未だ目に見ない生れたか何だか知らぬが夫にしても私共は實に無殘だと思ふ若し出來得ることであるならば何とかして人工流産こいふやうな手段は用ゐることなく其の子の生命を繋ぎ留め得る方法を

研究した いものである。吾々は是非之れを考へ出さなければならぬ然るに況んや何等の理由なくして僅な理由に依つて墮胎をするなごは人間として考ふるも肉慄然たらざるを得ないことである今次の歐州戰爭の時分に白耳義なごに於て獨逸兵の爲に多くの婦女が强姦され懷胎した者が尠くない。夫に對しては

墮胎を許 すこいふ議論も大分行はれたのであるが私は絶對に反對である縱し如何なる不法の子であつても苟くも人間の形ちを具へて居る以上は殺すこいふが如きは不倫も亦甚だしいことで正に人道に反した行爲である。如何に子供の出來た原因が其兩親の不道德な行爲に因るものであつても兩親の不道德であつたが爲に子が殺されなければならぬこいふのは

矛盾も亦 甚だしい。昔の世ならばいざ知らず今日こそ聖代に於て而も學問の進歩、社會の制裁の進歩したる世の中に未だ左樣に野蠻的な行爲が遺つて居るのは悲しむべく恐るべきことである。故に産婆諸君は左樣な依頼があつた際には理由の如何に由らず又情に於て忍ばざるものありとするも或は如何なる

利慾を以 て誘はるるとも或は脅迫さるることも此點だけは斷じて嚴め決して應じてはならぬ叙上の如く産婆の業務と法律との關係は各方面に頗る多いのであるから夫等に對する十分なる注意と十分なる研究を積まれむことを切に希望する(此稿は前掲の六回分と重複せしため文脈前後せる事あり讀者に謝す)

店員慰安會(日出小學校にて)

大繁昌の高利貸
不景氣の反映

不景氣來の恐慌は獨り呉服屋、古着屋を襲ひしに止まらず跳ね印刷業者にも波及し牽いては る有樣なるが織紐會社其の他各工場の縮小を餘儀なくせり從來最も暴利を占めし製靴業者は今回の不景氣の爲めに止むなく高價なる既製品を値下する一方原皮の仕入も從來に比して値下を敢行し難く狀態の供給に努めつゝあるも依然客足鈍く持越品の處分に窮するに加へ多數の職工中には轉職者續出し靴業者の恐慌は收拾すべからざる狀態に達せるもの、如し次に印刷業者は多く資本主の貸金に據りて經營し來る者多きを以て今回の金融梗塞の爲に資本主に於ても戒嚴的態度を持する者多きを以て自然資金の融通を缺き一方二三の印刷工場の休業するあり職工の不足は言語に絶ね、折角の註文品は内地に再注文するの止むなきに至り慘憺た に出る能はず從來内職人共職組の手に至り從來内職行はれ居たるも會社側の縮少の爲め此種の手内職なる者日々多數あり且此間に於て獨り利益を貪るは金貸業者にして所謂高利貸は此の虚に付け入り七分乃至二割以上の法外の利得を占め彼も借人殺倒貸し澁りせざる盛況なりとは驚く可し

娯しかつた店員慰安會

各商店員を網羅せる京城基督教青年會主催第一回店員慰安會は六日午後二時から府內日出小學校に於て開催されたが初夏の風を浴びながら店員諸君が續々とつめかけ一時半既に

三百名 と注された會場に充てられた講堂は午前中主催者側の手に依つて店員諸君を歡ぶに萬遺漏なく準備整ひ開會を待つ定刻に至るやプログラムの一部の順序に據りピアノ進行曲の終るを待つて司會者齋藤青年會の開會の挨拶あり丹羽青年會理事の祈禱に在る渡邊高等法院長の平易に

有益な 講話あつて餘興に移り樂友會有志の六段ヴァオリン合奏より九十九舍一半君の講談にて哄笑を打切り三時半愈々既に六百餘の人數に溢されたプログラムの順序は進みて狂言清水普請松樂(雅樂)演奏より午後十分間休憩後本城堂より寄附の茶菓の饗應を受け再び第二部に入り

明笛の 獨奏より數番の餘興に移り拍手喝采裡に午後六時半散會せるが主なる來會者は渡邊高等法院長を初め…

關門記者團動靜

關門記者團一行九名は六日夜入城朝鮮ホテルに投宿したるが七日朝齋藤總督水野總監邸を訪問の後南山公園に登り昌慶苑祕苑を拜觀しそれより殖銀の午餐會に臨み同夜北行新義州へ向へり

このごろの監獄
特赦出獄と新しい獄囚

世間から全く懸け隔つた監獄にも夏は見舞つた後に特赦の恩典に浴した二百卅五名の出獄者を送り出したと思ふ間もなく爾後約一箇月間に早くも二百五十二名の新入獄があつて在監者千五百卅四名と注された

西大門監獄 の薄暗い獄內に割合元氣に異樣の瞳を光らせて働いて居る囚人の大部分は鮮人男囚で鮮人女囚八十六名內地女囚九名が悚を異へた獄房に縛がれて居る懲役囚の三百九十五名も此中に含まれて十六歲未滿三名十八歲四名廿歲八名廿五歲廿七名三十歲以上五八名の在監者百分年比を以てはあらゆる階級職業を網羅して居る九名の內地女囚中二十歲二十五歲以上三十歲以下七名の中本夫殺し無期懲役一人十年三人九年一名三年一名六箇月二名で

彼等仲間の 一般的傾向は彼等は概して再犯科者である一般に衛生狀態も行屆いて現在僅かに十四名の輕微傷病者あるのみの中尤も彼等仲間に恐怖される皮膚病疥癬の感染は

四時を通じ て絶へず毎日業湯に百人以上浴して居る暑さに苦痛呻吟して居る六月一日より朝六時起床晝休三十分勞働十一時間の日課に晴雨を論なく細工物織物裁縫袋張の類を精出し三度々々米豆の混食に命を繋いで居る。

緩衝機 (投書歡迎)
所謂官選議員
一官人

某新聞の所謂官選議員に關し一民間有志の寄せる書に對し聊か申述べたい同記事中前段に於て一民間意識を選出したる事に就ては何等異議なしの一句を以て更に追求を忘れ次に官吏側議員に關しては特に愼重を要するとて故人となつた一惡官吏の議員を例示して如何にも惡く云ふも現官吏議員候補者に關して何等具體的材料も擧げずして恰も同候補者は惡人物であるかの如く攻撃を提へる樣に記してあつた自分は官吏でないが全然官吏の文字より推して此一民間有志は全く官吏候補者を落選せしむる爲に云ふたものと察せられる、僕は問ふ此民間有志の『官吏なれば特に愼重を要する』とは如何なる意味であるか苟くも大京城の內地人教育の議決機關の一員として立つ以上民間たると官吏側たるとに依て候補人物に輕重差等を付する必要はない皆な僕は彼の民間有志の如き觀念を抱きて居る人物が京城市民を惑亂することなかれ且京城は可なり役人の多い都會である以上或る程度迄役人階級の代表する發言權を獲得して置く必要があると信ずる少くとも彼の如き謬れる考へを懷く者のある以上は一層官吏候補!

劍舞 (廿四)
碧瑠璃園
挿畫 森田ひさし

脊力の持主 (九)

助一は躍らうとする、欣作は止めやうとする。そして二人が爭つて居る處へ、德利を持つた榮之助が割込んで、今迄堪ねて居た助一の肩へ手をかけた、助一の怒氣が此時に溢れて出た、筋骨の入つたやうな右の腕が、淺葱縮緬の襦袢の袖の下で動くと、今にも打ち下ろさうとする榮之助の腕を無手と捉へた、それこそ青竹でも掴み碎く程の膂力を持つて居る助一が、全身の力をこめて絞り上げたので、榮之助は忽ち德利をばたりと落して

わりと締つける筆の力に榮之助は指頭まで痲痺を覺ねて

『痛いよ君、放して呉れたまへ、放して呉れたまへ』と懇願するやうに云つた、酒の醉ひも苦痛の爲めに醒て、恐怖にそゝられた蒼い色が、眉の端から流れ初める

『痛くても辛抱なさい、これはわたしが得るのぢやない、あなたが得るんだ。あなたさへ紳士の體面を保つてさへお在でになればわたしのやうな者に縋められなくても終んだんです、早川さん、あなたはわたしを何んだと思つてお在でなさる、わたしはその日生活の働き人ですよ、あなた方のやうな紳士とは違ひますよ、然し、生れて以來盜ねはありません、騙したこともありません、弱い者を苛めたこともありません、學問も無く知惠もないが、天から授けられた膂力をもつて、弱い者の味方をして居ます、正義正道を扶けて居ます、一匹に負ける事があつても、巨鰐や狼に負けたことはありません、あなたはさつき與さんをお擲りなすつた、前田さんのお膳を仰向けになすつた、ごうも立派なお力です、お膳は器物です、けれど與さんは女です、打たうと思へば何時でも打てます。同じものならわたしを打つて御覽なさい、此の身體に指一本でもさして御覽なさい』

助一の聲には段々力が籠つて來た、欣作は默つてそこに立つて居た

『……』榮之助は怖くなつて、ゆでた菜の如くぐたりと化つた

『さあ、打ちなさい、打てるものならお打ちなさい』

助一は握つた腕でこづき廻した、榮之助は腕が折れはせぬかと思ふほごの痛みを感じて

『宥して下さい、これから注意します、ごうか〳〵宥して下さい』酒にすさんだ眼の中からは涙を流した

『これは異しい、あなたはわたしに惡い點があればこそ德利を振りあげなすつた、そのわたしに謝絶るのですか』

『ごうか御免下さい』

『あなた、それでも男ですか』

榮之助は默つてしまつた

『あなたそれがほんとうなら、男ではないでせう、男とは云はれないでせう、しつかりなさい』

『しかりします、放して下さい、怨して下さい』

助一の氣色はこの時極度に緊張して來た

『あ、痛、痛い』と叫んだ

『さあ、ごうともしろ、官僚のやうなひよろ〳〵男で、おれの身體へ指一本さすことが得きるなら指してぼろ、德利を持つて向つたのは、おれを擲るつもりだらう、擲れるなら擲れ、打てるなら打て、さあ何うだ』

『放せ、うぬ、貴樣……』

榮之助はもう口ばかりの人となつた、捉れた手を振り放さうとするが、助一の力に及びさうな筈はなかつた、助一は榮之助が腕一本に引張られて、身體をもがいたり、首を歪めたり、額から冷汗を流して苦むのを、にや〳〵と笑つて見て

『ごうですね、されませんかね、失禮だがあなたの力よりは、少しばかりわたしの力の方が强いやうだ、何ならもう少し引絞めてあげませうかね』

怒氣の去つた面は、雨の晴れた天の如く爽かであつた、じい

工關金連絡船

	朝	夕
八日	對馬丸	新羅丸
九日	博愛丸	高麗丸
十日	昌慶丸	新羅丸

釜山發 朝六四〇 夕八三〇

連絡船上陸客

◎五日朝入港昌慶丸二等船客四名 井上勝一、大野於郎、上城るい、同勝三、森本太三郎、松岡豊郎、松浦源六、杉本兵藏、小尾わさ、吉田三郎、高橋武雄、原田茂作、同千與、同直平、蒲口耕司、次郎、佐藤才助、同花子、弘中いだ、外國市場田中きつ、小松洗甚、同辰、邦彦、同淑子、中村秀雄外二名、二等(四十三名)萩原寛、田中安兵、渡平、同しげ子…

◎五日夜入港博愛丸二等船客 濱口戶市郎、出口雄三、松本春次、正三、石塚光一、落合直吉郎、山要三、吹野猶孝、佐々木章夫、同 一等(一名)岡部三郎、同きし、石同チモ、同正男、同秋子、同保、南田保作、角田他十郎、山本利衆、よね、八代金之介、佐藤吾一、布川勝敏、谷口一、森川勉、熊手田源太郎、伊藤吾三郎、平川忠二、平井竹四郎、島三次郎、渡邊しか、谷喜治、宮永金藏、同きゑ、同ゑみ子、金谷愛作、同みね、原田佐代伯金一外人七名…

◎六日夜入港對馬丸二等船客 … 一等(八名)武部東吉、宮本政次郎、高木こう、外人五名 二等(卅)… 同よね、森ちゑ、唐津政一 (百廿一名)

運動欄
野球リーグ戰

…

日報詞苑
詩壇
惡日凶日
矢橋小舵

父、危篤の急電に接し、五月二十六日夜、慌たゞしく釜山に歸省す。神に祈るも甲斐無く、寢病は日に加はるのみ、枕頭に侍して不孝の兒のうたへる

×
惡日は我を襲ひ來、凶日は我にめぐり來て父ぞ病む

×
み手を撫で腰をさすりてある程にしら〳〵夏の夜は明けにけり

×
おん父のうつゝに宣らす言葉さへ聞き洩らさじと妻と相ぬぬ

×
脉されば餘りにみ手の冷たさに思はず顏を見入るなりけり

×
看護婦はぬれむりてゐぬ遊難ほのに明ねて夜は更けにけり

×
戶を繰れば看護疲れの眼に痛し庭の青葉の揺れやまずして

×
昨日よりけふや肥ねしさ父のみ手握るもかなし瘦せのつのれば

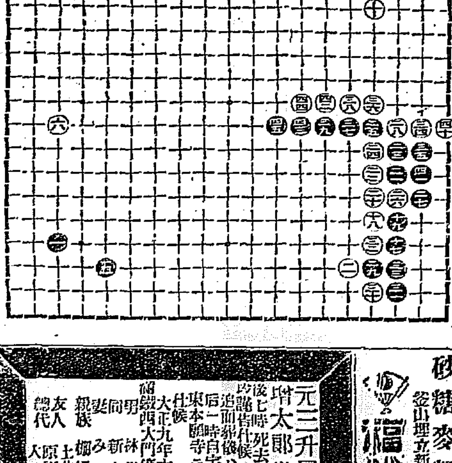
か讀者の領分にて住所をおしへ下さいませ早々子供を連れてまゐります(私人の母)▲中人好きの世樣私の友達に軍人の人があつて今娘を探して居ます發安かなくば住所姓名御報らせ下さい(軍人の友達)▲平壌秀子に答ふ御住所知らせ給へ(京城武橋町八五番方KO生記)▲仁川N子に答ふ御祭の品物都合に依り格安にて讓渡し度し(釜山元朝鮮新聞社裏通商田)▲釜山元町の女さんへ友人四十三歲の官吏妻なく亡ひ八歲以上の男子あり生活に差支なし貴女の家政婦たることを望む(初音町二〇六郎)▲軍人好の母樣へ希望者あり御住所氏名承知したし(在郷軍人)▲五月十一日の軍人好の母樣にお答しますが貞實の告白ならば私も考へがありますから下記へ直接お願ひ致します(鐵原中里一 秋山)

新刊紹介

▲私的銀行檢査法(磯部…)銀行執務に對し常に檢査の必要なる所以は敢へて贅言を要せず其の檢査に於いて公的即ち官廳より取締上監督的に行ふ場合と私的即ち銀行經營者が自衞上積極的に行ふ場合との二種の區別あるも亦言ふを俟たない、本書の目的とする所は後者即ち私的檢査上の要項を詳述し以て其の正否を調べ整理上の欠を擧げしめんとするにあり我が邦未だ斯種の書冊あらず一般銀行家の參考すべきもの勘からざるを信ずるのである(一圓八十錢東京々橋南鍋町同文館發行)▲中央文學(六月特別號)現代作家號と題し廣津和郎、宇野浩二、久米正雄、菊池寛氏等の創作及び德田秋聲、芥川龍之介、田中純氏等十二名家の執筆せる現文壇代表的十二作家の『作と印象』其他中島孤島氏等八名家の『現代作家論』其他を蒐め更に特別附錄として詳細なる現代作家創作年譜を掲ぐ(東京日本橋區通四春陽堂)

東京六華會 臨時手合(三)
先 向井一明(初段)
互先 長谷川章(初段)

三一	は十八
三二	に十六
三三	は十七
三四	ろ十一
三五	ろ十二
三六	に十
三七	ほ十一
三八	ほ十
三九	へ十一
四〇	い十一
四一	ろ十三
四二	へ十
四三	と十一
四四	と十
四五	ち十一



元三升屋事 父 增太郎儀六日午後七時死去致候此段謹告候 追而葬儀ハ明八日午後一時自宅出棺南山東本願寺ニ於テ執行仕候 大正九年六月七日 釜山西大門第一號合宿 嗣子 … 親族 友人 總代

酒精 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉 福榮商會 釜山埋立新町

燒酎 味淋 發賣元 田中釜山支店 釜山西町四

洋鐵鋼鐵道船舶 材料其他工業諸器械附屬品商 角野商店 釜山

糖粉・官煙 あづまや商店 釜山

洋酒・罐詰 千代田商店 釜山

金屬膨『ルミナ』

三谷商店 左官用 萬荷受問屋 海産物肥料商 豊後石炭 青竹直輸入販賣 釜山

釜山商店案内

内科 小兒科 入院隨意 施療す 古城憲治 打田義芳

せきずい 同病にて手足引ツリ腰延不能肩脊筋痛みシビレ等に効能ある藥あり…

みみの病 ヘミー新療法無代進呈 陸軍一等軍醫… オーレンと云不思議 クキク藥を發見す 耳だれ、耳鳴り、耳痛、すべて耳の病で お困りの人は彼是迷はず今早く 東京府下西大久保町五參東洋新藥園へ病名と新聞名ハガキにて申込め

リウマチ神經痛 天壽堂

ヨクキク ひぜん水 いんきん たむし其他 皮膚病一切の靈藥 大阪市外天下茶屋 本舖田知本和三郎製 各藥店に販賣す振替大阪三六八番

御召工合良き靴 内田靴鞄店

脱腸帯 小柳整形堂

木村屋 ぬしはカステラ 坊やはモナカ 妾しやアンパン

一等（七十七名）一戸命太郎、寺尾任…、安井…、…惠母、中谷勝之助、田中次郎、江野久太郎、松島聰介、吳宗鎬、金さ…くに、大槻るい、淺田ち…崎幸太郎、古澤丈作、早川虎松、元興、金亨植、康鍾祐、指尾武吉、し、花田かね、胡白雄、山上つご、阿川重郎、松村茂三郎、松島きよ、同斌、金成元、安承吉、洪性鎬、柳、同よきゑき、福田滿、林榮次郎、子、竹田晴子、伊藤八洲生、同き…斗秀、金承寶、金泰鉉、金炳淳、曹尚いわの、同まき子、同こしての…同太郎、外八六名二等（百り）…助、岩崎喜一、近藤清次郎、…すす、千田喜十郎、坂田喜一、かつ子、松下長次郎、王…、…輔堂、張翌臣、高西辰子、西村健太郎、上林喜三次郎、高川愛治、中村宗子、青木信夫、中村利一、…加藤たき子、石塚…、曾沼英…二等（二百五名）安…中…、…中金正鎬、三等（百九十九名）…與平、中田鐵五郎、坂手悅作、黑川仁三郎、同よし、横山勝次、山本辰太郎、…、横尚巳、同部子、…郎、岩村丈三郎、北村京子、増田…山口修太郎、石川直三、朴禧、横尾さか、同ゆく、同重吉外人五…定城、…隆一、竹田菊太郎、小川樹、外人四名二等（三六名）池田…名三等（四四二名）…林虎之助、条岩三、同道子、原田…今枝培吉、四本作次郎、山本…、南方たね、同昌子、三木良平、…

醫專コート開

京城醫學專門學校の新設コート開き庭球大會は既報の通り六日午後二時より同校庭で擧行、非常の盛況裡に來賓紅白勝負を終れり（重なる成績左に）

△…内（工醫）二―三　…（醫）
△祝賀…　島（病院）○
△…（京日）二―三　南田（病院）○
△長…順　古（病院）○

…對六プラス△にて…軍大捷ス…軍頗る優勢にて鐵道軍に强襲して…鐵道軍が大捷した

日ざかり

（南大門にて）

横濱を振出しに世界一周の巡航貿易博覽會の計畫
釜山仁川を經て大連上海等にも寄港す

今回京濱方面の有力者間に斯業の産業を海外に紹介して貿易の發展を圖ると共に

國際間の 親善に資すべく國民外交の任を擧ぐるの目的を以て個人組織の國際貿易博覽會を創始し金杉英五郎氏を會長に吉井幸藏伯田尻稻次郎子を顧問とし其の他役員を擧げ目下着々進行中なるが

此の計畫 は來る九月頃神戸に歸港すべき埃及丸（一萬五千噸）を借り入れ之に諸般陳列の設備を施して來る八月二十日横濱に於て開催しそれより約一ヶ月間名古屋、大阪神戸長崎の各地に寄港し更に釜山仁川大連上海基隆香港等を經て南洋印度各港乃至歐米各國の要港を廻航し布哇を最後として明年六月中旬迄に

世界一周 の筈なりと同船には實業視察團をも便乘せしめ之が目的を達成するに努むべく目下同會委員會に於て各方面よりの出品勸誘中なりと云ふ（東京電報）

氷上の舞踏日本娘が大喝采
戰後の獨逸は物資缺乏で伯林六十萬の兒童中其の半數は病氣に犯されてゐる
京城府…所長　石川眞三氏の談

昨年七月出發して米國を經て歐洲に渡り英佛白獨瑞等の諸國を約一ヶ年視察し歸朝しましたが時期が早過ぎたので思ふ樣に視察する事が出來ませんでした。殊に戰後の歐米諸國の

變化は非常 なもので戰爭以上の事が少くありません。獨逸に入つたのは本年の二月でしたが獨逸の疲弊は言語に絶して居ました。田舍の農夫などは未明から起きて耕して居るが都會へ行くと少しでも金を持つ者はヤケ氣味に金を費して居ます。物價は高く物資は缺乏して食物の不足は滿足に營養を執り得ない者も少くありません。牛乳等は病人の外は容易に飲めず伯林六十萬の兒童中

其の半數は 病氣に犯され約十萬人は營養不良で發育不能の狀態です、有識者は國力の恢復は根本から改造せなければならぬと叫んで居る一方獨逸の復活には獨伊佛の三國大同盟を造つて物資の供給を豐富にせねばならぬと論じて居る者もあります。獨逸民は統治者は誰であらうと問はぬ目下の生活の脅威から逃れる爲にい踠いて居る

此處に乘じ て過激思想は遠慮なく侵入して居るやうに見ねます。自然何時革命が勃發するかも知れぬ樣に見ねました。對日感情は意外に良好で日本人は至る處に歡迎されます氷上の舞踏に日本娘と云ふのがあつて島田の髷を被り振袖を着て踊ると大した喝采を受けます。私が或珈琲店に四五人の友人と一緒に入ると樂隊が『君ケ代』を

態々演奏し だした程で獨人は吾々と交遊する事を悦んで居ました。元來獨逸は日獨兩國人は國民性に於て共通した點があり政策上にも或一致點が見出されると信じて居るので日本が今度の世界戰爭に參加したのは英國が正義を口にしながら自國の利益の爲めに戰つたのとは事情が異にして日英同盟の爲め止むなく正義の矛を執つて立たので

青島戰爭に も成る可く獨逸人を傷つけぬやうにし捕虜の優遇も他國に類のない程だと感謝して居るのです。將來の日獨關係は圓滿に發展して行くであらうと思はれます。唯馬克の下落と工業原料の拂底は何時になつたら以前の獨逸に復しますか疑問です。

幅のきくの は勞働者で俸給取りなどは月給め惨めな者です…して亡國の面影を漂はす中にも比較的勞働者の鼻息の荒いのが目に立ちました。

滿鐵の淘汰
豫定人員が減少くす

滿鐵冗員淘汰は沙河口工場職工の不穩其他の事情にて發表を延期し居れるが當初の豫定よりも淘汰人員を大いに減少す可しと（大連特電）

言質を楯として
沙河口職工の不穩
其罪は會社幹部に在る　横井工場長の斡旋で一段落

今回滿鐵冗員淘汰に際し沙河口工場職工等が不穩の擧動に出で又は幹部に對し過激なる感情を抱くに至れる原因は…生活難の前途を豫想した行動にして一方に於て

現幹部が 嘗ての當局の言質を用ひたるも確に職工の不穩の行動を招くに至れるものにて即ち昨年現幹部が就職せる當時松本理事は沙河口工場に於て職工を招集し滿鐵は近く大擴張を行ひ事業は空前の

大擴張を 行ふに至る可く諸君は安心して其の職に出精努力すべし滿鐵は如何なる事あるも事業上の都合にて從來諸君を罷免するが如き事斷じて無しと目下各處に事業界の好景氣に伴ない賃銀値上げ運動

同盟罷業 等ある諸員は之等一般の職工と異なり安全なる國家的大會社の滿鐵に奉職し居るを以て安心して忠實に勵くべし會社の都合に由りて諸君を罷免するが如き事斷じて無しと宣言し未だ一箇年に滿ちたざるに今回の大淘汰ある職工連は此

言質を 楯として 淘汰の發表あるや成るべくは平らかしめんが爲め…に代表者二十名…社に出頭し中西副社長松本理事を訪問せるに其の…中西副社長は社員中より劍道柔術の達人豫備陸軍大尉林政勝及び元東京新聞記者…橋某等…たりし竹上六三郎で

兩社員を 以て職工代表者等を威嚇して追返さんとし爲に端なく一場の紛擾を起し結局中西副社長松本理事は直接代表者と面接したるが結局要領を得ざる上に中西副社長は諸君は

職を失ふ 事がそれ程恐ろしきや滿洲に居られなければ南洋にでも何處にでも行く勇氣が無くては駄目だと揶揄したるより職工は甚だしく憤慨し既に暴行に及ばんとしたるを代表者中に抑止する者ありて漸くなきを得たるが職工の

反感愈々 甚だしく成り無事に納まり難き有樣となれるより沙河口工場長横井寅郎氏は大いに之を憂ひ四日午後職工の代表者を會し冗員淘汰の實現は止むを得ざるも比較的其數を減少し且つ

有利なる 方法を取るべく充分責任を以て斡旋盡力すべしと誓ひたるを以て流石に騷ぎ立ちたる職工等も横井工場長の熱情ある訓戒懇諭を受け靜穩に歸したるが横井氏は職工に對し非常の同情を以て斡旋奔走し居れり（大連）

馘首を待ちつゝ
仕事も碌々手につかぬ鮮鐵從業員の不安
解職者は約二百名見當

滿鐵本社に於ける職員以下多數の解職處分は明年度にも波及すべしと鮮鐵從業員は戰々兢々たるものゝありしが昨大連電報は鮮鐵解職者は一割に決定せりと報じ來りしより

京管局下 に於ては今にも解職の刄を頭上に加へらるゝ如く思惟し係々仕事も手に附かざる者尠からざる模樣なれども聞する處に依れば今回の解職者は京管局從業員約一萬二千餘名の二分五厘即ち約三百名程度にて内職員級は七八十名其他の二百餘名は庸員傭人の全般に亘る者の如く

解職者の 最も多きは運輸工務兩課にして各課に亘り少數の解職者を出すべき見込なり而して其等の多くは…從へに依る冗員又は老朽者の淘汰にして平時の移動任免を斷行するに過ぎざるものに依る伏聞す。右に就き久保京管局長は五日朝大連より歸任後直ちに職員…

秘密裡に 同日午後三時關係者を招集し約三時間の長きに亘り協議を凝らし再會を約して散會せるが會議の内容を嚴に秘して語らず…大體に決定を了したるやに傳へられつゝあるが恐らく前記の内容と大差なからむと觀測せらる

アト一日の選擧戰
京龍共に大混戰
或は發狂はせぬも有るだらう　優勢な人も不勢な人も　ココを先途の奮鬪狂奔

剩す所僅に一日悲しみも悦びもアト一日に迫つた京城學校組合議員選擧戰は猛烈なる戶別訪問叩頭哀願盛んに行はれいよ〳〵最後の瞬間に中飛躍は各候補必死の大活動を捲起して居るらしい、七日朝電車で落合つた

商人風の男 二人は家に居れば戶別訪問外へ出れば義理や人情攻め濟き一票の遣場に困つたが何方に入れても義理が惡いので選擧が濟む迄は旅行かうと定めて今から溫陽あたりへ行かうと思つてあます私も御同感で立候補者の運動員は緣故を辿つて議理人情で清き一票を傷つけつゝあるらしく或は當選圈近にめやうと盛に運動を續けてゐるが愈々最後の一日八日は更に一層猛烈な激戰を演ずるであらう一般的に鳥瞰する京龍共に大混戰其の中に在つて田中大垣戶部曾我の諸氏などは優勢らしく犬島新作氏は黃金町三丁目から打つて出て黃金町一帶と古物商を背景に奮鬪しつゝあるが或は當選圈を突破し得べしとも觀測さる。

南大門外で は土井一義氏優勢らしく肥塚氏之に次ぎ高山孝行氏亦盛んに力戰に努めつゝあるらしく或は當選圈近にあり當落の岐路にあるべしと豫想せらるゝは岩谷武市、小杉治彥、安藤…、望月勉等の諸氏ならんとの說あるも混沌たる現狀は全く豫測すべからず今明兩日が瀨戶際で或は發狂をせぬるやも計られず各候補者運動員は

最後の健鬪 に凄じい勢ひを見せてゐるが此興味ある逐鹿戰は如何に展開されるか剩す所愈々一日である。

選擧立會人

京城府は九日の選擧當日現場準備怠りなく選擧立會人としては左の四氏選任せられたり

釘本藤次郎氏、中村再造氏、大久保雅彥氏、大和與次郎氏

選擧場整備

更に府吏員の役割は別の如く定められ八個の受付で約八千の選擧人をイロハ順に區分して投票用紙を交附し服部北村兩府事務官以下吏員殆ど總出で選擧事務に從ふべく悉べての準備整ひたりと云ふ猶選擧場たる南大門小學校の設備も六日より着手したれば今明日中には設備萬端整備すべし

…も之支那に絕されたれば鮮人側一般となり同事務所を襲ひ不穩の擧動に出でんとするを警官驅せ着け說戒を加へしより漸く引揚げたり（下關特電）

安東縣の喜雨
農民愁眉を開く

去る四日數回降雨ありしも田作物が…農民は愁眉を開き待望の七日午後八時より五時頃より多量の降雨あり農民は千金の喜雨なりとて悅びつゝありと（安東特電）

不正講事件
二名不起訴　九名豫審へ

一時釜山を騷がせた釜山金融界に一大恐慌を與へたる信用組合の…不正講事件は其後地方法院檢事局に於いて取調べ中の處十一名中栗太梅次郎、有田百助の兩名は不起訴となり放還されたるが殘る九名は豫審に移されたるが公判の審判を終る迄には尚ほ二三ヶ月餘の日子を要すべしと云ふ（釜山）

滿鐵工學堂支那學生の盟休
夜間寄宿舍を脫出して城內に分宿し
原因は日本教師排斥か　官憲は要求條件等協議中

長春滿鐵附屬地に在りて支那人子弟に對し日本語其他の教授をなし居る滿鐵工學堂寄宿舍入舍中の生徒六十名は六日午前零時半を期し一齊に同盟退校城內に入りて分宿し學校に對する官憲側に

要求條件等 に就き協議を爲しつゝあり原因は數日前起りたる或る事柄に對し日本教師の措置不親切なりとて退校生は其排斥にあるものゝ如く…して高等科の者にて他の生徒も亦之に參加盟休するやは七日に至らざれば明ならず當局は元日比衝突ある模樣にて

突然此擧に 出でし爲め一時慌てたるも…一同に對し速に歸校する樣懇諭して居るが生徒等の要求は學校の改善を要求するや不良學生の處分等に對しても未だ…あり又支那側の或方面にても之が退校生に對し

援助的態度 を執りつゝ有との噂傳へらる（長春特電）

南浦競馬會

鎮南浦乘馬倶樂部有志は本月十三日大組立地に於て競馬會を催すべく當日は午後より多數の馬匹を出場せしむべしと

南鮮庭球大會　優勝旗を中の記念撮影

臺灣各地の强震
震源地は花蓮港　死傷者を出す

五日午後零時二十分臺灣の各地に强震あり臺北に於ては未曾有の强震にして震動の時間約二十分に亘り市內に於ても數戶の倒壞家屋あり人畜には死傷なかりしも附近村落には二三の死傷者あり又煙突の倒壞其の他損害尠からず就中、南花蓮港等も同時刻に地震あり殊に花蓮港は其の震源地なるが如く戶障子の破壞せるものもあり殊にこの地方は家屋の建築法宜しからざるを以て多大の損害ある模樣なるも未だ詳報を得ず（臺北電報）

犯罪の地
面目一新す　組合長檢擧

鳥致院…內なる…組合長…吸植は組合長及び副組合長共文盲なるを奇貨として帳簿を胡麻化し大正六年以來牛皮一枚に付金一圓宛の割合を以て著服せる金額既に三千餘圓に達し延金を以て土地購入又は高利貸等をなし居たるが事發覺し此程鳥致院警察に拘引され目下取調中なり近時鳥致院警察署の活動振り目覺しきものありて不正事件など續々檢擧せられ『犯罪の地』とし從來何れの事件も摘發さるゝ事無かりし時代に比し大いに面目を改めたり（鳥致院）

…確にて被害貴重品…殘さして逃出たるのもにて…梅田喜…の一（五）は頗る要慮し內外の事情に通じ犯人は畔內の勝手を知れる者との見込を立て本町署にても內偵中なりと

大阪方大錦隱退
協會に屆出づ

大阪相撲横綱大錦大五郎は久しき以前より隱退の色ありたるが協會政策の犧牲となり今日まで其儘となり居たるが五月場所限り斷然隱退する事に決し一昨日前親族二名付添ひ其旨協會に屆出たり（大阪）

三千圓の小包
行方不明となる　犯人は何者

去る…平南道木浦郵便局內小荷物取扱所にて一日午前十一時五十分頃差出人木浦榮町一丁目八島某…より受取人…道長城郡長城…前朴元洪に送附すべき現金百圓札十圓二百千枚混ぜ紙幣三千圓の小包を係員…伊作の卓上に置きたるを何時にか竊取されたるが前記現金入小包は差出人に於ても萬一を慮し特に油紙にて表裝を施し…

カフエーライオン　屋上庭園開始　青木堂

自動自轉車に衝突負傷す

五日午後三時卅分頃府內堅志洞五二番地材木商申學基（三〇）が重要の爲め自動自轉車に乘りて…南大門通り…京城商業銀行に行く途中…古厩里三〇一番地…留所附近に差蒐り…衝突し…後輪車に引掛け數間引摺り右足…指に裂傷を負はせたるが直に南大門通りセブランス病院に送り治療費一切は加害者に於て負擔することゝなりて示談濟

御見舞を辱うし奉拜謝候　持地六三郎

線路工夫重傷

五日午後六時頃平壤炭礦線美林驛構內に於て貨車連絡の際線路工夫戶田彌太郎（…）は貨車に觸れ墜落重傷したるが生命には…

○滿呂木六段遠征　滿洲奧…の爲め三日朝南大門驛を出發…本社囑託棋士六段滿呂木光…は四日午前九時撫順著直ちに…七段と對局の結果第一回戰は正午より午後五時迄香落二十三手にて滿呂木六段の勝、更に第二回戰を午後五時廿分より開始し午後九時終局せしが平手合百〇七手にて滿呂木六段の勝利となれり…條なかるべしと

頃

龍山の公認候補…月君は存外苦戰なので參謀連の苦心一通りでなく大…山田渡邊の諸氏は必死になつて活躍し幾分形勢を見直した▲突如滿鐵から立看板の撤回を持ち込まれ同氏の選擧本部大騷ぎをやつて居る▲夫は滿鐵の十五、十六番地の滿鐵用地へ相互協調して五箇所の立看板を掲げて居たのを何かに障つたか直に撤回して呉れと道からの嚴談▲假令敷地は何所有でも民家の軒先推薦の立看板を外せとはヒドイ▲此位で斷られたら龍山では何も出ぬと目下火のやうになつて交涉中だそうながさりとは大人なけない▲學議選擧の直前などは大小十數枚の看板や一面推薦の看板とも見られるのが肥塚正太君、目に付く變りのは中島君の赤地白字の藤村氏のは『當路の岐路に』藤村忠助君に投票被下度…である。

社會主義者三十名が不穩な會合
解散を命ぜられて反抗し約二十名檢束さる

大阪神戸京都方面に荒畑寒村一派に對抗する社會主義者約三十名は五日午後七時より中央公會堂に社會事項問題研究の名の下に會合し警官立會の上研究を開始したるが演說者五六名は演說中止を命ぜられ終に七時四十五分解散を命ぜられたるが反抗的態度に出でたる者あり之より曾根崎署に引致して加賀美特別高等課長檢官は約二十名を若松署等に分ち取調べをなし司會者大口孝之助外八名を除き少年は放免せり右は革新研究會とも謂ふべき一派の社會主義勞働運動者に對する一類なりと（大阪電報）

鑛業會社
給料が拂へぬ　解雇の鮮人に不穩の擧あり

南關…折尾鑛業會社は五月の勘定支拂不能となりたれば鮮人十三名解雇を申し込みしに會社は之を承認せるより鮮人等は大に狼狽し歸鮮旅費金三百圓を要求したる…

電車數十を燒く
原因は漏電

七日午前零時四十分名古屋市名古屋電鐵會社々庫より出火し電車十輛を燒燬したり原因は漏電なりと（名古屋電報）

禮山軍遂に優勝
痛烈なる爭覇戰に　南鮮庭球大會盛觀

本社大田支局主催大田庭球倶樂部後援の南鮮庭球大會は去月來着々準備を進め一方壯麗なる

本社優勝旗 も東京三越本店で調製を了り更に…大田面長の援助で會場も立派に修築を終り南鮮一圓選手の意氣亦自ら白熱高潮して六月六日いよ〳〵此の興味ある南鮮の庭球の壯擧は大田小學校コートに於て擧行された南鮮一圓の庭球熱は素晴らしいもので光州の如きは庭球の町とさへ綽名されてある程であるが斯の如き庭球界の盛の町々を代表した各選手の爭覇戰參加の戰士は

何れも必勝 を期して大田に集まつたらしい。五日夜は遠く釜山を初め光州公州禮山論山水原鳥致院の各代表選手應援隊と共に旅宿に入つて明日に迫つた決戰を待つてゐた。六日は絕好の庭球日和早朝から詰かける觀衆は庭球場を圍み黑山の如く

猛烈な激戰 が鐘石油罐等を打鳴らす物凄い聲援の中を築き堅唾を飲んでゲームに見入つた午前九時四十四名の選手が抽籤に依つて組合せを定められ論山對釜山組によつて

第一回戰の 序幕は切つて落された見よ選手の意氣と應援團の元氣とを。第一回戰の勝者は續いて二回三回戰と進んで行く此日の來賓は時實忠清南道知事以下數百名コートを廻した大衆は立錐の餘地もない盛況であつた正午京城より特派の朝鮮體育協會幹事森諸岡松村の三氏が入場して直に審判臺に上つたが回數を進むるに從ひ士氣は一段と緊張し…中に續けられた大田の井上組は殘念ながら第四回戰で禮山軍に破れ更に勝ち誇つた禮山軍は決勝戰で公州軍を壓敗せしめ光榮ある我優勝旗が遂に禮山湖西銀行選手の手中に握られたのは午後五時半であつた負けた大田軍を始め公州軍等は何れも切齒扼腕秋の大會まで臥薪嘗膽大いに決意する處があつたらしく禮山面長亦運動趣味普及の爲め將來毎秋二回南鮮庭球大爭覇戰を

年中行事と して擧行すべしとの意嚮を漏して居た戰績左の如し

第一回戰

×論山進組○―三釜山吉武組○
×大田伊集院組○―三公州荒木組○
○大田馬場組…不戰
×光州安田組二―三水原木下組○
○光州金組三―○鳥致院徐組×

第二回戰

×大田三石組○―三公州岡田組○
×禮山安田組一―三大田井上組○
×大田重村組一―三鳥致院磯部組○
×大田大島組一―三水原小笠組○
×水原永井組三―二釜山濱澄組×
○禮山黃組三―一水原林組×

第三回戰

○大田井上組三―○水原小笠組×
○光州金組三―○鳥致院磯部組×
×大田馬場組一―三公州岡田組○
○公州荒木組三―二水原木下組×
○禮山黃組三―一水原永井組×
○釜山吉武組　不戰

第四回戰

×大田井上組一―三禮山黃組○
○光州金組一―三公州岡田組
○禮山黃組三―二釜山吉武組

決勝戰

×公州荒木組○―三禮山黃組○

禮山軍の後衛はバック、フォアに自由で强く前衛亦非常に猛烈なもので殊に立派な優勝であつた

各地の農作物

國境方面喜雨 農民愁眉を開く

國境地方は數箇月來降雨らしき降雨なく主要農作物は蒔付けたる儘發芽せず發芽したるものも自然に枯死する模樣なるより地方農民の焦慮限りなく一概雨乞ひをなしたるも其効なきを以て只徒らに天を仰いで雲霓を望み頻りに怨聲を放つのみなりしが四日午後六時頃より夕刻に至り數回の降雨あり一般に愁眉を開き干天に代へ難き慈雨なりと悦びたりされど雨量は到って少く稲に蔬菜類に相當の効果ありしに止まるべし東邊道尹は近く一般祈雨祭を執行すべしと傳へらる(安東縣)

北鎭地方旱魃

安北道北鎭警察署管内に於ては去る五月八日少量の降雨ありたるのみにて爾來旱天打續ける爲め農作物殆んど枯死の狀態にあり本年もまた昨年の轍を擬遵し深甚なる旱害の痛苦を嘗むるに非ざるやと農民の憂慮するもの多しと(義州)

全南挿秧遲延

全南各地の苗代は久しく潤澤の降雨無きため昨今著しく用水不足を告け目下五寸内外の苗丈生育に租變あらず六月上旬の挿秧時期に入るべき筈の所旬日の遲延を見るに至り數日中に相當潤澤の降雨なくば稲作の前途大いに悲觀なり(光州)

慶北水稻狀況

大邱地方及び慶北各郡地方の水稻は發芽以來一般の順調なる發育を遂げつゝあるが榮州郡の如きは一毛作田は既に六分方の挿秧を了し居れるも頃日來の旱天に灌漑水不足を來し植付困難の箇所あれば今後適當の降雨あれば一毛作田は全部の終了を見るべし又大邱附近に於ては本月十日頃より之が植付けに取掛るべしと(大邱)

全南麥作豫想

全南道六月一日現在の麥作狀況は大麥は濕害の旱害を被り生育稍不良にして收穫豫想一百十二萬二百一石を示し前年實收に比し四分五厘の減收なり小麥は生育普通にて收穫豫想十三萬四百四十九石にて前年實收に比し增減なしと(光州)

忠南麥作豫想

忠南麥作狀況を聞くに昨秋播種後冬期に至る迄氣候雨共に滴順にして發芽生育良好なりしも春期に於て旱魃に遭ひ一時生育を阻害したるも四五月上旬の降雨に生育旺盛となり出穗良好なりしが昨今旱天打續き爲に多少黑穗病を受け作柄稍不良にして大麥、小麥共に反當收量は例年に比し劣るの狀況なり然れ共作付反別は前年に比し約二割の增加なるを以て豫想收穫高は前年度收穫高より增加し大麥は五十四萬三千五百石小麥は九萬六千三百石の豫想にして前者は六分九厘後者は七分七厘の增收さるべしと(公州)

營口より 實業堂生休校

當地實業堂生は四五[illegible]敎員より叱責せられ[illegible]頑こして之を容れず尚不遜の行動を取るに依て停學を命じたるに一向改悛の色なく相率ゐて退學したり右に付商務會員等は[illegible]せられ意見を求めらるゝや何れも其の子弟の輕擧妄動を謝し且つ唆者こ誤られし者或は主謀を云々せず復校を許されんこを[illegible]認むる旨を新聞紙上に廣告して社會に告白すべして廣告文も其席にて起草し之を堂長に示し何れも明日より子弟を督勵して[illegible]

新義州候補者 合計十八名

新義州の學校組合議員選擧期日は來る九日なるが六日に到り立候補を宣明し新聞廣告をなしたる人々は鴨江日報主筆小川延吉、古物商石原松次郎、料理屋組合仲上由之助、醬油釀造業永井雅之、新義州木材商會松村良太郎、三井出張所主任堤潤紀代司、雜貨商顧谷松太郎、朝鮮商事專務宮恒敏、金融組合伊藤茂雄の九氏なるが其他の候補中には人力車營業磯谷協藏、朝鮮製紙井口文彦、代書業今川勘平、醫師小野明次郎、齊林商會書記野原賢次郎、無職菜原藤太郎、米穀商藤原秀吉、齊林商會溝部三九郎、菓子商元矢市の九氏なり十名の定員に對し總數十八名の立候補なるを以て一兩日中には非常に猛烈なる白兵戰を見るに到るべし(新義州)

南浦選擧結果 戰況頗激烈

鎭南浦學校組合議員選擧は既報の如く去る四日府廳に於て執行せられたるが選擧期日前迄候補者を告げたる今回の選擧界もその前日に至り伏兵的候補者五名の顯出するあり戰況漸次熾烈を極めたるが選擧當日有權者總數五百三名中四百餘名の投票を計上し開票の結果左記十二氏當選したり(鎭南浦)

六十票牧野昇、五十票鹽貝吉、四十六票野田良一、四十三票直塚保三、四十票高橋仁作、三十九票立川六郎、二十四票福田三太郎、二十四票岡島英次郎、二十二票佐藤松次郎、十八票福井經邦、十七票田中三八、十六票濱田儀平 以上

實業夜學開設

大邱の敎育機關として普通學校小學校中學校農業學校高等普通學校高等女學校等ありて今の處內鮮人の子弟を敎育するに何等不便を感ぜずと雖も大邱が純然たる商工業地として發展しつゝあるを以て此際是非共實業學校建設の要あり然れども這は多額の經費を要し勿論一朝一夕にて實現せしむること不可能なれば先づ商工業者の子弟並に店員を以て實業夜學會を開設し當分間有志者の醵金として之を維持せしめ機を見て實業學校に引直す事となすべく目下府に於て計畫の歩を進めつゝあり(大邱)

南鮮鐵道實測

南朝鮮鐵道の全南工事は目下松汀里に倉庫事務所宿舍等建築中に屬し七月中には完工すべく、鐵道線路布設は既に光州松汀里間三哩餘の實測を終了し現在光州より奥地潭陽に向く路線に多數技術員出動中にして天候晴勝ちの爲豫定以上進捗を告げ居れり(光州)

平北面費豫算 秦一部長談

平北道本年度面費豫算は總額六十六萬九千七百九十圓を算し一面に均三千四百五十九圓に相當す歲入の主なるものは賦課金及使用料手數料にして交付金及財産收入之に次ぎ歲出の主なるものは給與事務所費及事業費とす而して賦課金中其の主なる者は地稅割及戶別割にして前者は本稅一圓に付平均六十錢後者は一戶平均一圓五十一錢五厘を算す給料中最も多額を計上せるは面長及面書記給にして面長一人月額三十一圓面書記一人月額二十二圓に當る更に之を前年度豫算に對比するに其の總額に於て約三十五萬三千四十圓即ち前年度豫算の倍額以上の增加を來せり右は主として物價騰貴に依る各費目の膨脹殊に給與及事務所費の激增に基づくものにして之が收入は主こして賦課金の增徵に依る事と爲したり云々(義州)

滿洲茶話 大連

▲内地の不景氣に伴なふ失業者每人港に入込み▲又朝鮮方面からも内地人の失業者が盛んに這入つて來るので左なきだに住宅拂底の大連は愈々慘澹たる居住難を現出する事となつた▲その上滿鐵の首切りで社宅から追出される連中が行き處なしで難儀する事であらう▲此の點は滿鐵でも酌量して住宅の見付かるまで罷免者を社宅に置いてやらなければなるまい▲何も彼にも下落向きの今日此頃家賃と下宿料だけはズン〳〵上つて行く▲大連市の爲め何とか緩和の方法を講じなければ社會的大問題が起らないとも限らぬ▲衛生組合の毛の生えたやうな大連市役所に此の頃市長さんが缺けて居るので街上馬糞の山を爲して居る▲これでも百五十萬圓も費ふのかとお目出度くもあり情なくもなる▲商業會議所の評議何れも宜しからぬ折柄大連の東中で朝鮮商事株式會社の創立を目論で居る者がある▲京城あたりの一流の顏が網羅利用されて居る用心しないと酷い目に逢ふぞ

安東縣 娘々祭 參拜者二萬 俄かの大雨

安東縣街市鎭元寶山下の娘々廟は例年舊四月十八日が大祭なるが本年は五月四日が其の日に相當したるを以て例年の如く盛大なる祭典あり安東は勿論、新義州其他の近郷より老若男女の參拜者頗る多く其數二萬人の人出ありたる由同日は夕刻午後豪雨降りしを以て露天飲食店香具師見せ物等は非常の打擊を蒙りたるべしと(安東縣)

本社將棋囑託 溝呂木六段 近く安東縣と新義州方面へ

本社將棋囑託溝呂木六段は今般大連同好者の招聘に應じ去三日京城出發大連に赴きたるが歸途奉天撫順の同好者と手合せをなし其後安東縣又は新義州に於て同好者の好みに應じ手合せをなす由なれば希望者は本社安東支局へ申し込まるべしと(安東縣)

新義州の大相撲 雨で流れた最後の勝負

新鮮人地方會の主催にかゝる素人相撲大會は既報の如く四日午前九時より前日の運動會場に於て開催せられたるが久しく素人相撲の催しなかりし事とて隣郡數里の在郷より見物又は相撲選手の來るもの多く午前十一時頃には無慮四千人の入場觀覽者あり非常の大賑ひを呈したるが所謂三段格の大勝負頃に到り殺氣の急雨來りたるを以て遂に雨に流されたりしは遺憾千萬なりし(新義州)

龍岩署長更迭 平北

龍岩浦警察署長小松清之助氏は本月一日附を以て本道第三部高等課勤務に任命せられ其後任こして高等課勤務警部關本次氏補任せらる因に關氏は轉任に先だち六級俸に昇給せり(新義州)

安東鐵工總會 安東

安東鐵工株式會社第二期定時株主總會は來る十九日開催の筈なるが當期の成績は佳良なるも次期の如何を顧慮し無配當とせんかとの議もある由なるが多分一割配當に決するならんと(安東縣)

◎伊藤布敎監督 淨土宗米國布敎監督伊藤圓定師は來る九日安東縣に來り淨土寺安東寺及び佛敎青年會の爲め佛敎講演會を催すべしと(安東縣)

俠客奇譚 韋駄天吉松 第五九席 神田伯山講演

切へ濡れしよほれて荒磯權藏が賄賂欲しげに歸つて來たのを捉まへて稲妻が、話を聞くと全く懲りた權藏が惡い 雷『さて吉松さんこや、荒磯の惡いのは能く分りました、權藏に能く詫言をさせて私が詫り證文を一本書きますから、ごうか夫れで勘辨して下さいまし、三河屋さん、貴所ごうかお扱ひを願ひます 萬『イヤ學者論に負けずと云つて理屈の分らねえ奴を對手にしちやア話が纏まらねえが、流石は横綱さんだ、能く早く分つておんなすつた。さう話せば分りやア何も詫り證文を貰はねえでも良からう、なア吉松 吉『エー宜うございます、夫れで承知でございません 雷『ごうも濟みません 萬『ナニ構ふものか、俺の乾兒で間々田の源次と云ふ此の男にさへ話をすりやア宜んだから 吉『さうでございますか、ぢやア仰しやる通り貴所の養子になりませう、就ちやア、わたしの元の親が本郷二丁目の加賀屋五兵衞、わたしを養子に持つたお際に親は殺され三萬兩の身上は潰れて了つて離縁をした女房のおぬいが俺の七松は手振騷ぎで行方知れずになつて居ます、勿論此のおぬいの行方が知れた所で再び夫婦になると云ふ考へはないが、親を殺して家へ火を放けた奴は此の五郎、此奴を目附け次第、親の仇ごうしても討たなければならねえ譯なんでございます、就て其の家督の佐助さんと云ふ人は誠に氣の毒でなりませんから、ごうか是を何かの足しにやつて下さいまし』と十兩の金を包んで出した 萬『アゝ是れは結構だ、之を稼業の資本にしてごうやら取附く事が出來たら佐助さんも、權藏さんの恩を忘れめえ』と三河屋萬藏も喜んで新藏を連れて稻妻の家を出て、松坂町へ參り佐助親子に會つて右の金を渡してやつた、二人は涙に暮て三河屋萬藏と吉松に禮を云ふ、誠に結構な善根を施しました 萬『扨てモウ是で還俗をしたら何うだ、さうして俺の養子にならねえか、水戸のお屋敷に奉公をして居た事もあるんだから水戸の元締にしてやるが何うだ 吉『有難う存じます、モウ大概餘炎も冷め、水戸のお屋敷へ出入も出來るやうになつたら、さうしてお貰ひ申しやア結構でございます、けれども若し他の身內に其時佐助も親子になつて居て然んな事はさせねえ、と云はれるこ大きに困ります 萬『イヤさう云ふ事は決して云はれねえ、俺も心持好く其時には敵を討たせてやらう、手に餘つたら助太刀もしてやらう、年を老つても三河屋萬藏腕に年は老らねえ、尤も其の時親子になつて居て都合の惡い事がありやア緣を切つて、天晴仇討を遂げて、上への言ひ譯も立つた曉に又改めて町人別へ入れて貰正に養子と云ふ事にならう 吉『有難うございます、ごうぞお願ひ申します』と其れから早速廣德寺へ歸つて來て、日柱和尚に右の次第を話すと、和尚も喜んで、水戸の武田伊賀樣四宮隼人の兩家へも届け八方十方納まりが附いて愈々還俗をして元の吉松三河屋の養子になつて若元締、若親分と身內の者に崇められるやうになりましたが、一寸頭の毛の延びる間は餘り外へも出られない、戀て一年ばかり相待ちまして今ではガラリ樣子も變り水が滴るばかり、之まで頓著けて居た人間だが、髷を結つて見ると土臺が俐巧者だから頓著けた事も云はず、三河屋の若元締々々と云はれて、大層評判が良い、或時三河屋萬藏一の乾兒の源次に向つて 萬『さて源次や 源『ヘエ 萬『マア俺も良い養子をして仕合せだ 源『でございますね 萬『就ては何うか女房を一人持たせやうと思ふんだが 源『へ二私もさう思つて居ります 萬『然しごうも帶に短し襷に長しで好い加減のが無ねえなア 源『元締の實でございますね、此方で良いと思へば先方で往かず、先方で何こか云ふ奴は此方の氣に入らねえ、束角縁組てふものは難かしいもんですね 萬『さうよ、ごうかマア宜さそうな女を見附けて呉れ 源『宜うございます』と親分乾兒が心懸けて居る內に圖らずも茲に吉松の女房になる女が出來た、[illegible]

慶北傳染病數

[illegible]五月末現在慶北道內に於ける傳染病[illegible]

大田金融業績

[illegible]

貸付の部 前月越高 本月貸付 本月戻し 現在 [illegible]

定期預金の部 前月越 本月預入 二八、一四七、〇三〇 [illegible]

吉井商店整理

[illegible]吉井芳之助商店は[illegible]

愛婦會員養蠶

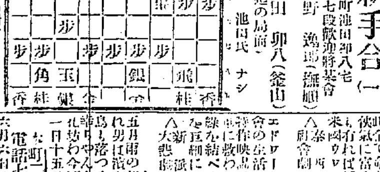
愛國婦人會光州支部の先人部婦人は自宅に養蠶飼育中なるが生育良好にして五日上蔟を了りたるが收繭高約八斗なりと(光州)

將棋新手合(一)

於釜山大廳町池田卯八宅 矢野七段歡迎將棋會

香落番 七段△矢野 鶴助(挑む) 三段▲池田 卯八(釜山)

(圖は七八王迄の局面)



△持駒 池田氏 ナシ

▲三四歩△七六歩▲四四歩△二六歩▲三五歩△二五歩▲三三角△一六歩▲三二飛△一五歩▲四二銀△四八銀▲六二玉△六八玉▲七二玉△七八玉▲五二金△五八金▲八二玉(以下次號)

六月九日 (舊四月廿三日) 水曜日

▼二黑▲進むも退くも泥濘の日
▼三碧▲迫害あり堅く守るに吉
▼四綠▲商事思惑違ひのある日
▼五黃▲迂闊な事あり功成らば手を引き跡は控目にするが得策
▼六白▲文藝上の問題に用ゐて有利入學名弘配本其他何事も吉
▼七赤▲諸願ご就すべき大吉日
▼八白▲資の山に入り迷ふが如く進むに利但し猶豫は失敗を招く
▼九紫▲歩調よく利から利を生み出す日開店行商求職嫁娶萬き日何事を爲すにも落着が肝腎
▼一白▲負けの日新取出用

演藝案內

壽樂館 本町一丁目 電話九七番 有樂館改 來る六月四日より特撰映畫提供 實寫『滿洲に於ける月迺』 米國キーストン會社映畫 喜劇『愛の力』 日活京都派新撮影 新日一新せる高踏的大活劇 由井正雪ご丸橋忠彌 全七卷 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 當る六月四日より提供 日本活動寫眞會社代理店 ○實寫 支那風俗の實況 ○ニコニコ喜劇 新婚飛行 ○米國メトロ會社作 ○大活劇 苦心の復讐 全五卷 ○浪人俠客 平文治 全六卷 日活會社最新大撮影 尾上松之助劇 ○淸劇 文七元結 四千呎 ○滑稽 山坊鼠こ猫 一卷 ○泰西劇 救世軍 全五卷 米國ウォールド會社特作品 ○新派大悲劇 心の花 全五卷

金館 [illegible]

歡迎琵琶會 法晴山島田旭翔師 左町二丁目 電話七八五 壽館 六月六日(日曜日)午后六時より

浪花館 明治町 電話一六〇番 六月六日より 月雪會 [illegible]

子の出來る法 出來ぬ法 [illegible]

男女生殖器書 全 [illegible] 正流社

腸胃病一切 下痢腹痛止 最高權威

前宮内省侍醫 柏村博士創製 ヘルプ

夏季は何人も腸胃に故障が起る=吾柏村博士創製のヘルプは夏期に於ける下痢腹疾患の原因たる不消化と黴菌作用を防ぐ消化殺菌の二大特効あり故に急治的には下痢腹痛をピタリと止め根本的には腸胃を健全さす

ヘルプの作用 ◆下痢腹痛◆吐瀉◆溢腹◆腸瓦斯を止め◆腸カタル◆胃カタルを治す

二十錢 三十錢 五十錢 一圓 三圓 六圓

▼全國各藥店にあり▲ 東京日本橋本銀町 本舖 津村敬天堂

故常子葬送の際は遠路態々御會葬被成下難有奉深謝候混雜中御尊名伺ひ洩れも難計乍略儀以紙上御禮申上候
大正九年六月七日
淸華亭事 母 平井トク
親戚 一同
友人 一同

皮膚科外科 花柳科 エッキス光線科 ヂアテルミー科 京城永樂町二丁目馬場毛皮商隣 安部醫院 (電話四一九) 安部[illegible]

かぜ ねつ
かぜを治しねつを解くにはハカリ印のヘブリン丸に限る……
ハカリ印のヘブリン丸が速かにねつを解きかぜを治すことは滿天下の實地經驗で明白である
定價十錢以上 家庭用 五十錢、一圓
大阪 合資會社 [illegible]天堂

米國グドリッチ會社製 自動車及自動自轉車用タイヤ及チューブ各種 在庫豐富、價格低廉、取扱親切 御注文次第何時にても迅速積出 仁川海岸町 ベンネット商會

珠算 養成 責任講師本學校長長島喜一先生は[illegible] 規則書郵券二錢送れ 振替大阪四七八一七番 名古屋市西區本重町一丁目 [illegible]

人梅 前には是非一度お求め[illegible]の整理を遊ばさぬこ恐ろしい黴毒を受けます

登錄商標 種類 大 中 小 ○各地藥店に[illegible]

商況

株式

東京現株特電

七日中値　掛込　▲賣買△下落

東株	一〇一、〇〇	時	二二一、〇〇
同新	一六、〇〇		△四〇、五〇
鮮銀	五〇、〇〇		五〇、〇〇

東京株式 至急電報

七日第一立會　前場比較

東株	一九七、〇〇	五、〇〇安
同新	……	
鐘紡	……	
同新	……	

大阪株式 至急電報

	五日後場大引	七日前場寄付
大株	一〇四、一〇	一〇〇、一〇
同新	〇六、九〇	〇〇、六〇
紡績	二四、〇〇	二一、九〇
鐘紡	八四、七〇	八二、〇〇
東新	二三、〇〇	二二、〇〇
日紡	二四、五〇	二三、〇〇
同新	二五、八〇	一九、〇〇
東株	五七、四〇	一五七、〇〇

大連株式 至急電報

五日前場　當限　先限

	當限	先限
取引	五六、八〇	五九、一〇
進米	五六、八〇	五九、二〇
鈴株	……	……

安東現株特電

七日　十日限　廿五日限

	十日限	廿五日限
安東寄	一八、〇〇	一八、四〇
同止	一七、五〇	一八、二〇

安東銀相場

五日(現物中値)	
小洋錢百圓對金	一三六、五三〇
中國票百圓對金	九五、五六〇
大洋票百圓對金	一二四、六七〇
滿洲一兩對小洋錢	一、二一二
金一圓對銀	一、五四七
小洋錢一圓對銀	四七三
	六四六

京城現株 標準値段

▲印騰貴　△印下落

	物込額	價
仁取	四〇、〇〇	二七五、〇〇
滿株	三三、五〇	二九、五〇
安倉	三三、五〇	一九、七〇
東銀	一〇、〇〇	二二、〇〇
同新	一五、〇〇	二二、〇〇
鮮銀	三三、五〇	五三、〇〇
同新	三三、五〇	四三、〇〇
殖銀	三六、〇〇	一六、〇〇
東拓	三三、五〇	四、〇〇
土地	三三、五〇	五五、〇〇
朝土	三三、五〇	一七、〇〇
大士	三三、五〇	一三、〇〇
米豆	一〇、〇〇	一〇、〇〇
紡績	三三、五〇	三一、五〇
織毛	三三、五〇	一八、〇〇
鮮鐵	三五、〇〇	三〇、〇〇
電興	三〇、〇〇	二〇、〇〇
皮革	三〇、〇〇	一八、〇〇
朝蓄	三三、五〇	一一、〇〇
朝産	三三、五〇	一〇、〇〇

東京現物氣配

(七日午前)東株一九四、〇〇▲郵船一四七、〇〇▲日清紡九五、〇〇(松商會入電)

冴え乘る人氣

北濱だより(五日發)

五日發市場は逐日閑散寂寥に陷り相場は漸落の不勢に傾ける際こて昨後場の活躍は所謂陰極陽發の先驅こして目先高を聯想せしむる所ありしも四圍尙は暗雲に覆ひて財界の前途容易に樂觀を許さゞれは一般に大事を取り傾向上するこミありこも迂闊に當同追隨し來らず買躊躇の傾向あり殊に昨後場高の一原因を爲せる配當課税撤廢も玄人筋は問題こせざるもの如し是れ當然高かるべく豫想されし今朝の相場がボケし主因なるこ同時に天候の陰鬱も何んこなく警戒を促し觀望せしめたる一因こ云ふべく兎に角市場は前日こ正反對に賣物薄らぎたる結果少數の賣物にも無雜作の反落を呈せし所以にして此買物薄の一事は一入ほ目先立直りの難事を思はしめ疾買人氣を旺盛ならしむる風潮を示せり

閑散と不安

今前場は少くこも多少の好況を期待されしに似ず市場は依然たる氣乘薄の寂寞を極めて鄉貌直きの立會頃より又々不勢の商狀に反轉し大株の當限の如き昇劍の商內なく大引は僅に十枚のバイカイを振つて値を付け先物さへも三五十枚の小口多きを占め百以上纒りたる手口は寥々こして朝の百枚こ細字外小口賣に對し橋本の百三五十枚柳の百枚賣位に過ぎず人氣物の大株が此有樣なれば爾餘の諸株に就ても商內なきは怪しむに足らざらんが以て昨今の人氣が如何に警戒こ恐怖に因れつゝあるかを想見すべく此分よりすれば假令目先に人氣一新的の活躍を演出することありこも高値は賣狙はれて買物後續せず線香花火的に終るべしこ爲し立直の至難を云々さるゝに至れり

鐘紡の二百圓

定期建株中二百圓臺にあるは獨り鐘紡のみなるより二百圓征伐を云爲せられ賣目標こされつゝあるも去る明治三十三年の北濱事件に於ける最安直は二百十四にして其當時に今日を比較すれば一般經濟狀態より觀るも又鐘紡の實質より觀るも遙かに優良なるは爭ふべからざる所にして此點より觀るも鐘紡の二百圓は至難なるべきか而して綿絲關係者の氣預買は追高關係より鐘紡に注がれつゝあるも强氣は同種株の內容を比較するに遙かに非らしむべく投資主義を一貫し基礎を鞏固ならしむべく鐘紡に及ぶものなく實質こ株價この均衡に於いても同種株中鐘紡は最も剛安也こ謳歌し居れり

材料無價値

豫て問題こなれる配當課税は財界の現狀に鑑み政府は撤回に內定の噂あり昨午後の東京高は此を氣構へ政商筋の買進みに負ふこミ少からずこ稱せられつゝあるが今更ら配當課税の撤回されたりこて此を以て大なる好材料こする價値なしこの意向が玄人筋間に一致せるこミ今日反落の一因なるこ共に立直り遲々こ觀て現下の人氣は些々たる好材料か唱へ煽揚されし相場の雷同買を深く戒め居れるか如し

公債株式現物問屋
京城府旭町二丁目(府廳東側)
角中商會
店主 中河原重吉
電話長二五八一番 一五六・七一番
振替口座京城四八四

結局合併か

安東取引所問題

安東縣に於ける株式商品取引所設立願は去る二月京城滿洲錢鈔交換會社專務村地俊二河原茂助諸氏より申請せるに之こ前後して當地安東信託側よりも同樣の申請ありし爲領事は其選擇に付考慮中なりしが此の程に至り與三郎小久保幸七兩氏の對立により許可の遲延するを遺憾こし田中通商局長の諒解を得兩者に對し妥協を盡力せる結果愈々兩者を合同の上取引所設立を爲すに至りたるを以て近く設立許可を得るに至るべしこ(安東電報)

大連株界

近頃取引所內の立會場に仲買人廢業數候旨の揭示が那々現れ一方諸株のヂリ安に一層物の哀れを誘ふ▲彼等の說く所は何れも極端な悲觀にて商賣不引合こいふに一致しゐるが先其一人の言ふ事を聞いてみるが曰く▲プレミアム百何十圓こいふのはアノ好況時代に株式移らしい好奇心が手傳つたからこそ買手も澤山出來ましたがさて一朝不況時代に陷り冷靜に考案してみるこ五品株は僞早不生產的の代物です▲それに仲買人も地方客の註文でもあれば格別、百人が百人何れも手持の手張りで言はゞお互の懷中の喰ひ合ひ▲仲買一軒少くも七八人の店員を擁し諸經費千圓を要するこして百軒で十萬圓、五品消耗品が少くも四五萬圓こして一ト月十五萬圓の貴い金が徒に消えて行く▲目下の狀態で行けば仲買は早晩共倒れで悲慘こなら先年迄の上海の如く現金持參で公開賭博をやつた方が餘程氣が利いてゐるやう▲野津、山田他二三氏の賣株筋が賣る以外は皆裸一貫でこの後五品が蛇度其邊へ落ちさうな三十圓にもなつて御覽じろ▲先づ少數の人々が現物取引を三四日位に受渡して堅實な方策を採り出來得る限りの節約をする事だ、要するに五品取引所目下の存在は仲買人殺しで取引所其れ自身の爲めにも不得策也こ結論を下して憚らぬ」▲飯を食ふ道まで絶つだ悲觀者の痛切な叫びだ▲參拜の爲めに掲げて置く

C.R.Lee Co.
有價證券 現物賣買
SHARES BROKER
李章魯商店
TEL No. 345. 505. 508. 803.

公債株式現物問屋
京城本町二丁目
電話長一四九八番二三六
丸五商會

兜町だより

此頃の相場は恰度重病人同樣で政府の財界救濟こ云ふ名醫の施藥も何等效果なく日增しに衰弱不良に傾きつゝある▲之れでは看護の任に當つて居る仲買も張合抜けがするこ共に日夜不眠の看護疲れが出て來るのは已むを得ない▲是迄は其內に直るであらうこ一縷の望みを懐いて背負込み株の處分を見合はして居たものゝ相場が遠慮會釋なく下るのを見ては迚も氣が持てず茲へ來て賣急いで居るのである▲而かも期米安を買ひ絲及び綿絲安を買ひ其れでも尙ほ飽き足らで底の恐慌が場は是からだこ許り鵜の目鷹の目で賣材料を探し廻つて居るに至つては正に陰の極だ▲貿易の入超は僅かに多大の輸入超をいが上半期に惡材料には相違ないが加ふるに內地の停滯品豆類に逵する時は下半期に入りて輸入は減切り減少するであらう況んや金融逼迫資金缺乏して外國品を買入るゝ餘裕なきに至るに於てをやである▲且つ內地の物價が暴騰してこそ輸入を奬勵すべけれ今日の如く暴落して輸入なきに至らば輸入は次第に減少し却つて內外品價開きの關係から輸出を獎勵するこ云ふ事ならう故に一部市人の間に傳へらるゝやうに下半期になつても貿易の逆調を來すが如き事はあるまい▲生糸、綿糸の暴落にも困つたものであるが併

京城現株市況

し政府は蠶糸に對して無制限に救濟の金を融通するこ云ひ綿糸はシンジケートの成立こ相俟つて各紡績會社は三割の操短を行ひて根本的に滯貨の整理をするこいふ噂もあり勞た救濟の効果は追々に顯はれて來るこ思ふ▲兎に角商內高が極度に減ぜる點から見ても又た人氣が買安心に傾ける點から云つても相場の轉換期は將に目睫の間に迫つて居るのである▲恰も東株の五百五十圓を調子附いて買競つたこ正反對に今や百圓臺を好い心持ちで賣込まれて居るのは冷熱の兩端を現はしてるもので此行過ぎたる相場は何かの機會を得て必らず急激に反撥するであらう

金融の逼迫益々其度を加へ株式に限らず一般商品の買氣更に引立たざる折柄內地電報の依然著しからざる商狀を移して當地現株界は今朝來全く火の消えたる有樣に各株式店こも殆んご休業同樣の閑散を呈し居れり從つて氣配も格別變りたるものなく仁取の百七十三五圓邊にて買物入り込みたるやに噂せられたるも午前中は未だ手合を聞かず之れを新たに同所仲買人たらんこする手筋の必需買ひならずやこも稱せられ居たり其他の株は相變らず三十圓擱みを維持して手合少なく殖銀新十五圓五十錢鮮銀新四十三圓東亞新三十一圓見當の値ありたるも商內拂々しからざりき

株界片々

株界が斯う不況になつては米の方が結句面白からうこあつて仁川に鞍替へしやうこする現業者もあるさうな▲それかこ思へば京食を忘れて新たに株仲買人たらんこ熱中する者もある何處迄も世はサマ〴〵か▲小杉謹八君こ新田商店の受渡紛糾も不景氣が產んだ罪惡でツマリは不景氣が產んだ罪惡で誰れがごう斷じ難いが小杉君の云ふが如く現在の株屋が危險であらうか朝新紙上の辯明はチト誇言に過ぎる嫌いがありはせぬかお互ひに感情に熱せず冷靜に解決すべしだ▲京株市場の假建築は訴訟問題を知らぬ顔にズン〴〵進捗して早くも棟上けした酢の葛顚のこ言つた處で訴訟問題の動機を洗へば實に人間のサモしい根性を暴露して居るこ云ふので片々子の見聞した範圍では市場側に同情して居る向が多い

●鮮銀券日報　六月五日の現在左の如し

發行高	一一〇、七三二、九四九
正貨準備	四七、三九三、八五三
限外發行	一三、三三九、〇九六

●日銀帳尻　五月五日現在左の如し

發行高	一、二四四、八二九、〇〇〇
正貨準備	九四五、二八〇、〇〇〇
限外發行	一七九、五四九、〇〇〇
貨出高	六四六、五〇七、〇〇〇

●京阪金利　六月五日の現在左の如し

	東京	大阪
コール 無條件	一、〇	一、〇
翌日物	九、〇	一〇、〇
六十日物 營通割引	三〇、〇	二八、〇

米況

東京期米特電

七日前場		
當限寄付	三十六圓〇一錢	
同 止め	三十六圓〇丁度	
中限寄付	三十三圓九十九錢	
同 止め	……	
日後場		七日前場
安値		三二、〇九
高値付	……	三一、一〇
止め	……	
七日後場		
當限寄付	三十五圓九十九錢	
中限寄付	三十五圓〇三錢	
先限寄付	三十一圓九十九錢	

大阪期米特電

七日前場		
當限寄付	三十三圓八十九錢	
同 止め	三十二圓二十錢	
中限寄付	三十二圓九十錢	
同 止め	三十一圓三十錢	
日後場		七日前場
寄付	……	三二、九〇
高値	……	三二、〇一
安値	……	三一、〇〇一
止め	……	三一、〇一
七日後場		
當限寄付	三十二圓〇一錢	
中限寄付	不明	
先限寄付	三十一圓六十九錢	

神戸期米特電

日後場		七日前場
寄付	……	三二、六〇
高値	……	……
安値	……	三一、八〇
止め	……	
七日後場		
先限寄付	三十二圓〇六錢	

下關期米特電

	當限	中限	先限
七日前場晴			
寄	三五、〇〇	三三、五〇	三三、五〇
上	三六、〇〇	三三、九〇	三三、九〇
下	三四、九〇	三三、二〇	三三、一九
止め	三四、九〇	三三、二〇	三三、一九

釜山正米特電

內地期米日曜明も引續き安報を入れ爲に七日の釜山市場氣配は頗に軟弱こなり一圓四十錢安の唱へ双方共商內氣無く殺良都四十圓にて僅か二百五十個神力三十九圓四五十錢所の氣配なり大豆も一二十錢安にて十九圓所百五十個の薄商內ありたり(七日)

群山正米特電

六月米三十七圓七十五錢より七十錢七月中物三十七圓七十錢より七圓〇五錢現物三十八圓五十錢(七日)

仁川期米

七日前場

(大瓦落)

休日前阪地の下岐れに仰壓されて三十五圓十五錢こ崩れ二十錢こ小戻しに打止めし折柄今朝の氣配安に中限の賣方たる加藤の縮抜けを傳へる等御派の悲觀材料の嵩み來らんこする機先に後藥の惡化も添へて一氣投げこ追擊を誘起して當出來ざるが中三十六圓五十錢の⑦と百丁安に始め④の買いに九十錢こ跳返したるも㊁の突買ひに五圓九十錢こ崩落せ しかは先限は凄じくも急轉直下三十三圓八十錢こ百四十五丁の下放れに寄付き更に四十錢こ墜落を演ぜしも安値は目先の手詰め買いに狙安忠の買物に八十五錢こ蹴上けしも戻り待ちの賣物旺盛に七十錢こ下押して頗重く引

㊀
今村覺次郎
仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町二丁目
電話長三三七番 三六八番

▲第一節 當出來ず中六圓丁度より㋣買に五圓五十錢こ崩れしも安は㋠の手詰め買に六圓丁度こ返し先三圓三十錢こ大阪寄の突込み買に崩れしも安値は軟派の買物に四十錢處を採合ひに引直しありて六十錢こ返し弱待ち▲第三節 當出來ず中三十五圓八十一錢先四十錢處を採合ひに引戻しありしも㋑の手詰め買に四十五圓こ氣丈に引▲第四節 當出來ず中九十錢より七十五錢下迦りしかば先五十錢こ手堅く始めしも㋣賣れ三圓丁度こ崩れて引▲第五節 當出來ず中㋣賣に八

後場亂調子

前場阪地の連節安に底拔けの光景を示せし場面は大阪前止め三十一圓〇一錢の安止め移りに後場は又復人氣惡化して當出來ず中五圓丁度より四圓五十錢こ追賣に叩かれしかば先四十丁安の三十二圓二十錢こ寄付しも大阪後節の高唱さを早耳せし買物各店より現はれ忽ち面一變して九十五錢こ一氣七十五丁の反騰を示せしより中限も一躍五圓

	寄付	高値	安値	止め
七日前場	三二、八〇	三二、八六	三一、七一	三二、〇五
▲平均値段	前節 二節 三節 四節 五節			
	三一、四〇	三一、二五	三一、七〇	三二、四五
賣入値段	當限 中限 先限			
	三三、五〇	三四、二〇	三六、七五	

愈々底抜け模樣

阪八節三十一圓十一錢の反落を移し二十五錢こ又復新安値の底拔け模樣を呈したるも目先手詰めに六十五錢こ返し六十錢こ頭重く大引せり

休日前より阪地の不勢に下迦りの形勢を下示せし場面は阪地の不勢こ共に中限の買方悲觀の聲を高めつゝある等今朝は人氣は益々惡化して先限は百四十丁の大下放れの三十三圓八十錢の寄付を高値こして三十五錢こ追戰されしかば中三十五十錢こ二百丁の瓦落に取引所は二節以降立會を延期し九萬千六百圓の追證整理を行ひしが直ちに之れを完了せしかば十一時半より立會を開始し大阪六節三十二圓十二錢こ小戻しの報に揃し五十錢こ跳返せし機先大阪七節三十一圓九十錢八節の十一錢の氣崩れを移したれば㊁を先頭に賣物頻出し五節は遂に三圓の關門を割り二圓廿五錢こ底抜けの慘落を呈せしが引際の防事こて目先手詰め買ひ派の防戰に六十五錢こ押し返し六十錢

念仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目
電話長一六六番

大阪一圓臺

大混戰裡に大引せしが引跡八氣は益惡化の傾きにて此昂軟派の理想値の三十圓を現出せされば收まらさる勢ひなり

市場變會以來內地期米は名古屋桑名方面氣崩れを動機こして急激なる相場の崩落を演せしか各地正米の形勢益非なるもあり休日明けの今前場は大阪三十一圓九十錢こ百餘丁の寄付跡二十一錢迄跳返せしが反復の非盛に見る〳〵二間臺を割り結局一圓〇一錢こ氣崩れの止め電を入れ限先灰汁抜け未だしなきく傳へられ殆ご底抜けの形勢を示し居れるが果して那邊まで昂落するものなるや市況は頗る混沌の狀ありこ雖既に相當の高値迄落込みたら今日此上の長鬪は軟派も無謀に突込み難かるべく此邊强硬兩者の一新すべき處にもあれば最早下値も淋しからんかこの觀測あり

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
齋藤榮之助
電話長三六七番 三六八番

京城正米市場

當正米市場は當物薄こ天候の暑くなるに添へて氣配軟弱の裡にも下げ渋りの狀態にて今朝の期米崩れ傳はるも影響も感じ薄く賣人は相變らず強腰にて賣物少く需要家への尻安を警めては誰れも兎角居れるも賣入側こしては理由なく兹白米の原料に追はまんこする者なき高は賣へに四十一圓摑みを喰にて之こて高値は賈つて引合はざれは何れも中々にも安狙ひの擇りれ如く今朝は賈人一層警戒の擇模樣もあり商內殆ご皆無にて買人側の呼聲區々なりしかば氣配又混沌こして捕捉し難き成行きなり

市場雜觀

天候惡はて鮮內のみでなく滿洲一帶は大旱魃で大騷をやつて居るこか夫に無い米を狂氣こなつてヤイ〳〵云ふてる派の氣分が分らん打こ鬪氣な噓勞を張つて居るよりも二百丁の上鞘を張つて先、よりも斯ふなつては四月八日の御釋迦樣ではないが丸の裸になつて張つた御蔭で南無阿彌陀佛を連呼した方が早く臟腑に付かないで濟むだ早道だ▲追賣方の前途を悲觀されるのも目されし南浦の加藤君も氣一寸も無理はない▲而かも强もどる一非を悔いて中限の賣玉を三引や方面の傳ふる處に依ると愈々前に在つて居るらしいされば仁川なつて居る手拐米全部を摑ぐ事にる買ひ郎大の光ちやんや釜山京城の御連中が六尺の褌で目的を遂げるやりに捏君に最後の一戰こ夢見て御座るが其處らに居て乘れず失れかしこ云ふて頑張れば頑張る程總場古御の四十一圓は遙かに堪へらぬ追證々々の攻め苦にはきれまいが之れ謠むれも御大の情はれながら諦めるより仕方が之は誰らうこて笑張りも御買突あるまい▲此際一日見たい四十張を殘して覺悟を居る間は未だ〳〵當一圓をこ殘して居たいこ云ふ者に來來一途にしよ見透された以上賀後の一途ちやこ其の態度を假合バラの悪觀苦鬪も餘儀ない次第である

仁川正米市場

栗逐次不勢

定期の反落を移せし正米は買人少く需要急ぎの形にて地場手持筋も相當にて今朝は三十七圓見當を唱へて多かりしも更に取引行はれず氣配益惡化の傾きなり

栗は遼報の如き事情にて大豐がチり安步調を辿りし後先今朝は期米正米の惡化より來る影響を受けて人氣一段安模樣こなり物十五圓五十錢當口十四圓六十錢見當を唱へ日曜前日より約五十錢方下押せり

大阪三品特電

	七日前場
六月限	三三五、一〇
七月限	三三七、一〇
八月限	三四二、五〇
九月限	三四三、〇〇
十月限	三四一、〇〇
十一月限	三三二、〇〇

第壹回決算報告

(自大正八年十二月二十一日至大正九年三月三十一日)

貸借對照表

資産之部

未拂込資本金	七、〇〇〇、〇〇〇
株式一部	一〇〇、〇〇〇
預金	三、七八九、〇〇〇
假拂金	二六二、〇〇〇
借方計	一〇、一〇六、八〇〇

負債之部

株金	一〇、〇〇〇、〇〇〇
受入資本金	三、七八九、〇〇〇
借方計	一〇、一〇六、八〇〇

利益金處分

一金參千六百四拾參圓九拾八錢 法定積立金
一金九千六百貳拾八錢也 別途積立金
一金七萬參千四百四拾貳圓六拾錢 株主配當金
(年八朱)

右之通候也

大正九年三月三十一日

西鮮殖産鐵道株式會社

取締役社長 山本條太郎
常務取締役 賀田直治
取締役 西島新蔵
同 劉鎭昊
監査役 松平直平
同 三宅川百太郎
同 白石完

男女用 上製ゴム 打三八錢 一打七拾錢
四打壹圓二打 壹圓八拾錢
三打七拾錢 參打拾錢
七拾錢 一打壹圓六拾錢

サック

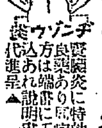
賣價 七拾五錢 七拾錢

上等品特製 一名御用

東京芝區愛宕町一ノ八 丁字屋
振替東京一八二五

內科、小兒科
仁川仲町
高木病院
電話七一九番

仁川
佐藤病院
院長 ドクトル・メヂチーネ 佐藤小五郎
電話四〇九番
入院應需



ちんそう炎

ウヅ 良藥あり病に特效の
方は遠慮なく御申込あれ
代進呈▲ 說明書無料

播磨明石錦屋町 天龍堂

各種硝子
小野玻璃器製造所
京城林町百六十二番地
電話二七九一番

弊工場製品は品質本位こし朝鮮原料より製造せしものにて價格最も低廉なり

活版印刷機械
新古 各種活字
中古活字・印刷機械・其他各種活字
製本機械其他一切
新調活字彫刻印刷用品卸
京城若草町
巧文社

入札拂下

京城府大平通一丁目六十番地ノ
二二、五六、九、二、、二番官有建物參棟
右賣却ス希望者ハ六月七日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

大正九年六月七日

朝鮮總督府

株券交附廣告

當社株券出來致候ニ付六月十日ヨリ同廿五日迄ハ東京出張所ニ於テ、七月一日ヨリハ朝鮮京城府本社ニ於テ第一回拂込金領收證ト引換ニ御交附可申上候也

大正九年六月七日

朝鮮京城府黃金町二丁目百九拾五番地
朝鮮森林鐵道株式會社
東京市京橋區南鍋町五番地
朝鮮森林鐵道株式會社出張所

高山孝行君

京城學校組合議員トシテ既往ニ於ケル誠心誠意ノ努力ヲ認メ候補者ニ推薦ス

京 龍有志

辭意ヲ翻シ

立候補 高山孝行

偏ニ小生ニ御同情之上御投票被成下度願上候

無資本 同様僅か壹圓の小資本でもスグ其日から意外の金儲が出來る保證付

永久的工藝化學藥品應用製造秘方

新事業 激授男女誰でも自宅にてスグ開業出來るハガキで申込次第工藝化學案內一冊無代進呈す 東京本郷區町 日本通信藥學校

兼古禮藏君

京城學校組合議員ニ公認候補者トシテ全會一致ヲ以テ推薦ス

龍山有權者大會

誰れにでも出來る心靈治療法

此心靈治療法は本會々長渡邊藤交先生が創案されたる靈的光波感應による病氣治療法なり、本治療法は催眠術、氣合術、又は其他各種の名稱を附する所謂精神療法とは異り醫藥も効なき病氣を安全に迅速に治療せしむる今回會旨擴張のため此治療法を有志諸氏に傳授す、本治療法に通ぜばあらゆる病者を救濟し得べく、以て意義あり高尙なる新職業として生活を營み得べし、本會は創立以來十有三年、心靈治療法の効は全國各地に傳播さる(希望者は參錢郵便切手封入申越されよ、詳細なる會則及說明書並に本會發行「日本心靈新聞」一部を送呈す)

京都市河原町二條下ル
日本心靈學會 本部
電話上壹八四八番 振替 大阪壹參六六參貳番 東京四八四五九番

シンガーミシン賣買

ミシン針・油・部分品・卸小賣
ミシン修繕及交換
中古ミシン利好品澤山取揃居候
京城鐘路三丁目三十七番地
楠商店
電話二三三八番
振替京城二三〇番

英文手紙講習錄

六ヶ月卒業 英語通信文に習熟す 會則見本無代進呈 大阪上本町二丁目 英文手紙講習會

有田ドラッグ

大阪 東京 に せ 有田製藥 取次 支店 記 表 の 販賣 あり
有田ドラッグ沢山あり

[illegible]

朝鮮 京城南大門外 台北 臺灣 有田ドラッグ

癌になると にせが 出來るヨ

有田ドラッグ

支店
龍山 兵營前 元山本町三丁目
仁川宮町二丁目
太郎弓町停車場通 平壤 南浦正門前
晉州 大安洞

京城黃金町三丁目(電車通)
振替京城四六七長電話二五六七
有田ドラッグ

製造元 京城南大門外(電車通)
有田ドラッグ
振替京城五九三七長電話一八〇三

發賣所 大阪內本町二丁目 有田ドラッグ

本舖 大阪心齋橋筋本町 有田音松

りん病・ばいどく

講習合 藥 送料十二錢

醫科大學帝國大學病院 百圓 懸賞

◎病毒薬 ◎ あらゆる治療もきかぬ方

にせドラッグ 沢山出來るヨ

東京日本橋 有田ドラッグ 大阪心齋橋筋本町

美容術から

お顔を美しくするのに非常な効果のある事は言ふ迄もない事でありますが、其の作業に當る美容術家の方々には、又それだけの特殊の技術を要し、深い研究と苦心とが拂はれて居るもので御座います。殊に肌理の荒い細い、色の白い黒いなど、種々異つた方々の地肌を整へてからお顔の性質に從つて夫れ〴〵似合しく美しいお化粧を仕上げる迄の技術の微妙さは、其道專門の人でなければ出來ない事ですが、先づ一般に言つて、本當のお化粧は如何するものかと言ふ事は、美容術家の化粧法から學ぶべきで御座いませう。それで今回の美顔講座では、其のお化粧のあらましと、化粧品の使ひ方とをお話して、美顔化粧料稱用者方の御參考に供する事と致しました。

桃谷順天館編輯部

【第三回】　美顔講座

お化粧の順序と化粧品の使ひ方

美顔化粧料本舖　桃谷順天館編輯部

顔や頸の洗ひ方に就きましては、既に前回の美顔講座でお話し致しましたから、こゝでは最早顔や頸は綺麗に洗つた事、又は美顔術を濟ました事として、直ぐお化粧の事からお話を始めませう。

一　襟の化粧

襟の御化粧は先づ耳の後の生際から始め、頸の横へ掛けて稍や濃い目に附け、眞後の襟の際になる處と、正面の顎の下とは濃くならないやうに附けます。これは襟の際になる襟脚の處や顎の下を濃くしますと、頸が太く見えて不格好になるばかりでなく、左右から白粉が寄り合ふ處ですから薄くしても自然にいゝ加減になるからです。次に

頸の左右　即ち兩横ですが此處は襟の美を現はすのに一番大切な處で、なるべく濃い目にして、髱の毛の黒さと地肌の白さとを判然させるやうに致します。（御自身でお化粧をなさいます時は、此の邊は刷毛も手も屆き難い處ですから食指か中指で、氣を附けて白粉がムラにならぬやう伸して附けるのです）そこに滑りなく白粉が行き渡りますと、今度は

濡手拭か　固くフキンで輕く押へて白粉を落ちつけてから細い粉白粉をパッフに附けて刷き其上を掌で輕く撫で廻しておきます。

◇**固煉美顔白粉**　襟のお化粧に濃い、淡いの加減が自由になるのは此の白粉です。年の若い方、平生からお化粧に馴れて居られる方の襟のお化粧にはこれが一番です。

◇**美顔白粉**　煉白粉ですから襟のお化粧には適度の濃さを示します。此點合ひして若い方に向き、お化粧を永く美しく保つ事が出來ます。

◇**白色美顔水**　平生餘りお化粧に馴れて居られぬ方やお年を召した方の襟のお化粧には、頸にも矢張水白粉として優れた白色美顔水がよろしいのです。

◇**美顔粉白粉**　襟のお化粧の最後に刷き付ける粉白粉は分子の輕い色の白い美顔粉白粉が一番です。

二　顔の化粧

襟のお化粧が濟みますと、次に顔のお化粧に移ります。先づ顔の生地から整へてかゝらなければなりませんが、脂肪性の方にはサラリとした化粧水、アレ性の方にはクリームか濃厚化粧液などを引いておきますと、白粉の落ち着きがよく化粧くずれも致しません。此の化粧下を平に擦り込むやうに引いて濃化粧ならば固煉白粉か煉白粉、薄化粧ならば水白粉を用ひ、

最初に鼻　次に兩頰、それから眼の縁、口の周圍、頸、額といふ順に附けて行くのですが總體に顔は襟よりも薄い目になり、頸の處から自然に薄くなつて行くやうに致します。

◇**白色美顔水**　此處に掲げた二番目の寫眞では、美容術家が白色美顔水でお化粧をして居りますが、白色美顔水は普通の水と白粉を混ぜたやうなものでなく或る特殊の美容液で優良な白粉を溶いてある品ですから、白粉で顔を美しく見せる以外に、肌を美しく整へて行くといふ特長を持つて居りますので、非常な評判を博して居ります。

◇**肌色美顔水**――これは白色美顔水の姉妹品で、白色美顔水に輕い肌色を加へた品で御座います。差し自然の肌色をお好みの方や地肌の餘り白くない方、お年を召した方等のお顔を自然の色白のやうに見せます。

◇**美顔水**　サラリとした化粧水といふ言葉が前に御座いますが、美顔水は即ちこれに常當つて居ります。美顔水はチバリ氣なしに荒れを防ぎ肌を美を整へ、またたしなみのトキ水としても理想的のものとして知られて居ります。

◇**美顔クリーム**　白粉下にクリームを使ふ場合には美顔クリームが大變工合よく出來てゐます。勿論白粉下としてばかりでなく常にお用ひになつて、お顔に不足してゐる脂肪の補ひを附け地肌を整へ、荒れを防ぐ作用も備はつてゐます。

◇**美顔ユーマー**　白粉下としてクリームと共に、前に述べて御座います濃厚化粧液として好評の品ですが平生お使ひになつて、素顔の美を發揮し、日焼けや荒れを防ぐ力を持つて居ります。

三　顔の化粧（續）

お顔の化粧は襟の化粧と違つて、夫々の加減をしなければなりません。さいふのは顔は決して本當の平面では無いからです。そこで（二）で述べたやうにして附けた白粉が落ち着きましたら、濡手拭か固フキンで顔一面を輕く押へてから今度は

粉白粉を　パッフで一面に刷き付け、輕く掌で廻します。眼の縁、生際、唇の兩端、鼻の孔、眉毛の中などは粉白粉が入り易いものですから、粉白粉を刷いて後を乾いたガーゼで拭き取り白粉の固まつた處は濡れ手拭で拭き取ります。

◇**美顔粉白粉**　今申しました通り、粉白粉は總てのお化粧の後始末をして本當に完全なお化粧を造り上げる役目を持つて居りますから外出先でのお顔直しなどには一番簡便で御座います。尚粉白粉は、此外にも「粉化粧」と言つて、粉白粉だけの獨立したお化粧が出來ます。美顔クリームを引き顔によく平均しておいて、その上へ美顔粉白粉を刷き附けたお化粧は、暇が要らず手輕で而も大變に上品に美しい化粧法として廣く行はれて居ります。

▼**粉白粉には三色**　御座いまして、純白、肌色、淡紅色となつて居ります。肌色は純白粉より白さの中に美しい自然の肌色を含ませたものでありますから眞白過ぎず目に立たぬお化粧をお好みの方、お年を召した方、餘り色の白くない方などに喜ばれ、又「淡紅色」は白い中に紅味を帶びてゐるお化粧顔をお好みの方、色白過ぎるため蒼白く見ゑるやうな方々に向くやうに出來て居ります。

四　頰の化粧

頰紅刷毛へ頰紅を附けて薄く刷き付け、其の上から粉白粉を刷いてほかしますと適度の赤味がほんのりと出ます。頰紅の出過ぎたのが濃いと涙を拭いた後のやうになり、狹いと又可笑しく見ゑますから、目の下頰骨の邊から頰に掛けてほかす位を程度と致します。

◇**美顔頰紅**　は桃谷研究試驗所で高貴御用品として謹製して居りまして、追て桃谷順天館から發賣する筈ですが、[illegible]への方だけの御誂めに應ずる事にして居ります。

五　眉の化粧

眉毛の濃い方には白粉を際立てゝ附けないやうに致します。黛を用ひましても、眉毛の自然の黒さを考へて、地毛の色を自然に染めるやうな氣持で致します。黛が粉製なれば小さい黛用の刷毛に含ませ、一應刷毛を紙の上ではたきまして、眉の眞中から引き、眉頭を後でらくへやうに致します。煉製の黛ならばガーゼか薄い紙に伸しまして指に卷き、それを

輕く引く　のですが、引き方は粉製と同じやうに眉の中程から始めます。眉を作るといふ事は却々難かしい事で、夫々のお顔に依つて違ひますが、丸顔の方は稍太い目の餘り長くない、そして心持三日月形にするのがよろしく、又細面の方は細い目の一の字眉でしなやかな柔らか味をつけます。それから眉尻の上つた方は、

眉尻の下　の方へ三本から五六本の眉毛を鉛筆で描き、眉の上の方を少し剃ります。眉尻の下つた方はこれと反對に致します。

◇**美顔眉ズミ**　には煉製も粉製も御座いますが頰紅と同じ性質のものですからお誂への方には早速調へる事に致します。

六　口の化粧

口紅は各自の唇の色を土臺とし、化粧の濃い淡いなどを斟酌して、自然の色を鮮かに出すといふ程度を標準に用ひます。東洋の婦人は唇の内輪の眞中邊りへ口紅を附けるとよろしい。小さい口の方ならば唇全體に附けてもよいのですが、小さいながら厚い唇でしたら外側へ出さぬやうに致します。

◇**美顔口紅**　この品も前項の二品と同じくお誂へに應じます。

■ 光榮ある美顔化粧料
三十六種の内
■ 桃谷研究試驗所創製

光榮ある純白化粧料　美顔白粉　白色美顔水
固煉美顔白粉　純白美顔粉白粉

光榮ある肌色化粧料　肌色美顔水　肌色美顔粉白粉

光榮ある純良洗顔料　美顔洗粉　美顔石鹸

光榮ある皮膚美料　美顔ユーマー　美顔クリーム

內務省　東京衞生試驗所　大阪衞生試驗所　鑑定證明

▲お化粧する前に▼

『美顔講座』第一、第二の梗概　桃谷順天館編輯部

美顔講座第三　ではお化粧の順序に就てお話致しておりますが、一體言ふと、本當のお化粧といふ事は只白粉や其外の化粧品で顔を拵へるばかりで無く、先づ第一に生地の皮膚から綺麗にする事にしなければ如何にしても本當に美しいお化粧が出來るといふ譯には參りませんから、お化粧の本當の順序と言へば、第一が顔の洗ひ方、次が顔の手入、それから白粉や何かを使つてのお化粧と言ふ順になります。それで

美顔講座第一　には、東京美容術所長小口みち子先生の「平生の顔の洗ひ方と平生のお化粧に就て」と言ふ非常に有益なお話が載つてゐて、皮膚の美を養ふ爲め平生注意すべき事や心得て置くべき事が委しく述べてあります。御參考の爲めに、此處に極くの梗概を述べますと、(1)「平生の注意で治つた例」で、先生の美容研究所へ大變に美しさの損はれた顔を持つて來られた方に、平生の起居其他常用の化粧品の使ひ方に就て尋ねて、間違つてゐる事を指摘して上げた丈けで顔の美しさを恢復した實例から始めて、(2)顔を洗ひ過ぎると如何に皮膚に惡いか、(3)洗ひ方が粗雜だと如何なるか、(4)顔を洗ふ品に依つて洗ひ方も違ふ事など種々委しくお話してから、「平生のお化粧」に移つて(1)平生のお化粧に心得て置くべき事々、(2)二十歳前後の方、(3)二十四五歳から三十位迄の方、(4)四十歳前後の方の平生のお化粧、(5)お化粧と見ゑぬ法など種々の事が分り易く丁寧親切にお話してあります。それから

美顔講座第二　は矢張小口先生のお話で、「平生の顔の手當と白粉の使ひ方」に就て述べてあります。「顔の手當」では、(1)脂肪性の方、(2)荒れ性の方、(3)肌理荒く色黒き方(4)肌理細かく色黒き方の平生の顔の手當の事を委しく述べ、「白粉の使ひ方」では、煉白粉を始め水白粉、粉白粉等を如何に使へば宜しいかといふ事が細かくお話してあります。美容術の大家が自分から筆を執つて講述されたのですから、皆樣にとつて非常に有益である事は申す迄もありません。編輯部では尚引續き

有益な記事

を美顔化粧料の廣告面に掲載する事に成つて居りますが、美顔講座第一、第二、第三は、之れを一組として揃へてお讀みになると一層完全に皆樣のお役に立つ事と信じますから、若し美顔講座第一第二を御希望の方は、大阪市西區靭南通二丁目桃谷順天館編輯部宛にて御申越になりますれば御送付申上げます。尚美顔白粉始め美顔化粧料の廣告に就ては、此の「美顔講座」のやうな新聞一頁の大きさの廣告面に限らず、其れより小さい廣告面に於ても、化粧上、衞生上、お得な事やお心得になるやうな事をお話する事も多くありますから氣を附けてお讀みになりますやうお薦め申上げます。